YAMAHA

ユーザーガイド

ワイヤレスストリーミングプリアンプ

WXC-70A

JA

目次

はじめにお読みください 5

本製品の特長 5
マニュアルについて 7
取り扱いに関する注意 8

付属品の確認とリモコンの準備 9

付属品の確認 9
リモコンの準備 10

各部の名称と機能 11

フロントパネル 11
リアパネル 13
情報ディスプレイ 16
リモコン 18

接続 20

パワードスピーカーや外部アンプを接続する 20
- モードの設定 20
- アナログ接続する 22
- デジタル接続する 24

サブウーファーを接続する 25
テレビを接続する 26
オーディオ機器を接続する 28
赤外線受信機を接続する(リモート接続) 29
ネットワーク接続について 30
電源コードを接続する 32

アプリのインストールと設定 33

MusicCastを設定する(セットアップ) 33
スピーカー設定を自動で調整する(YPAO) 36
YPAOとは 36
エラーと警告メッセージについて 39
YPAO測定結果の確認と設定変更 41

基本操作 43

電源をオン/オフ(スタンバイ)する 43
入力ソースを選ぶ 45
音量を調節する 47

再生 49

テレビの音声を本製品で聴く 49
オーディオ機器の音声を聴く 50
Bluetooth®機器の音声を聴く 51
USBメモリーの曲を再生する 53
AirPlayで音楽を聴く 55
Google Cast™で音楽を聴く 56
メディアサーバー(パソコン/NAS)の曲を再生する 57
インターネットラジオを聴く 58
ポッドキャストを聴く 59
ストリーミングサービスを聴く 60
他のMusicCast機器の音声を聴く 61

便利な機能 62

プリセット機能 62

設定 64

設定一覧 64

設定の初期化とリセット 68

ファームウェアアップデート 70

アプリを使ってファームウェアを更新する 70
USBメモリーを使ってファームウェアを更新する 71

困ったときは 73

故障かな？と思ったら 73
故障かな？と思ったら最初にご確認ください 73
電源/システム/リモコンのトラブル 74
音声のトラブル 76
テレビとの接続(HDMI)のトラブル 78
Bluetoothのトラブル 80
USBのトラブル 81
ネットワークのトラブル 82
エラー表示 86
アフターサービス 87

仕様 88

対応している機器とフォーマット 88
対応しているBluetooth機器 88
対応しているUSB機器 89
再生可能なファイルフォーマット(ネットワーク/USB) 90
商標とライセンス 91
主な仕様 93
ネットワーク機能について 98
その他のネットワーク機能 98
無線機能の停止方法 100

はじめにお読みください

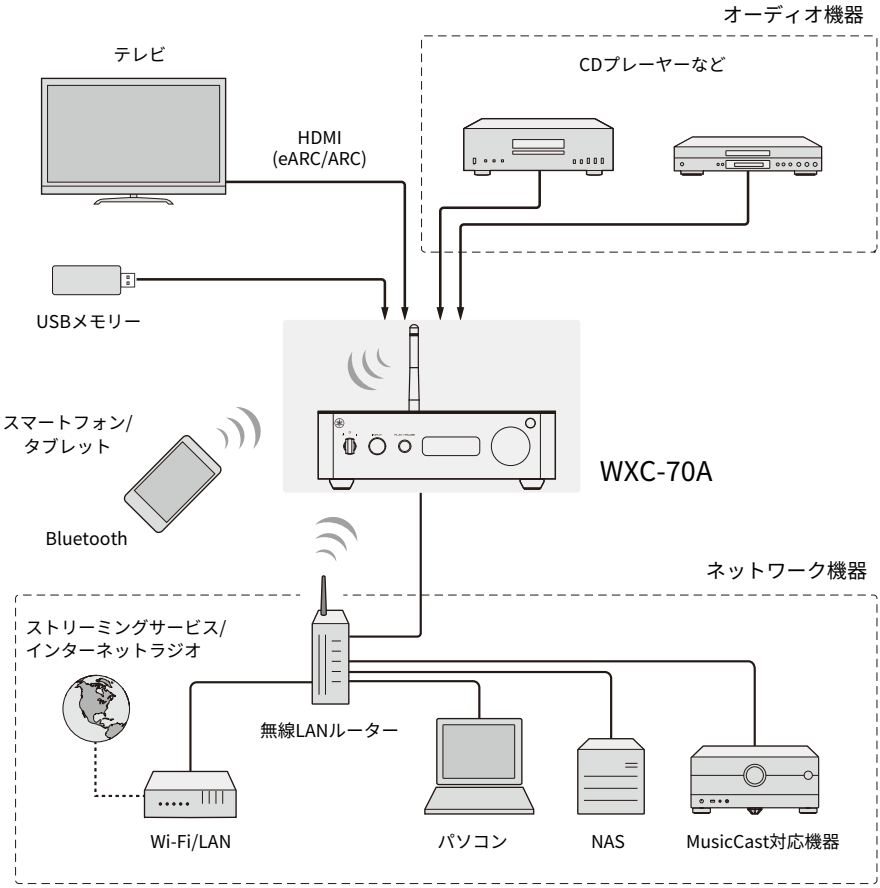
本製品の特長

このたびは、ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

WXC-70Aは、テレビやスマートフォンと接続して使用するワイヤレスストリーミングプリアンプです。スマートな操作と快適な接続性で、洗練されたサウンドを心ゆくまでお楽しみいただけます。

■ さまざまな入力ソースに対応

本製品は、さまざまな入力ソースの再生に対応しています。



■ MusicCast対応

本製品はMusicCast対応機器です。

MusicCast対応専用アプリケーション「MusicCast Controller」



- 本アプリを使って、簡単な操作で家庭内のどこにいても、スマートフォンやメディアサーバー(パソコン/NAS)、インターネットラジオ、ストリーミングサービスの音楽を楽しめます。また、複数の部屋に設置したMusicCast対応機器で、音楽を共有できます。
- MusicCastの詳細と対応機器については、ヤマハのホームページをご覧ください。
  http://www.yamaha.com/musiccast/
- アプリの詳細については、App StoreまたはGoogle Playで「MusicCast Controller」を検索してください。

お知らせ

本製品の初期設定および各種設定の変更には、「MusicCast Controller」が必要です。

マニュアルについて

本製品を安全かつ適切にお使いいただくため、3種類のマニュアル(セーフティーガイド、クイックガイド、ユーザーガイド)をご用意しています。各マニュアルを必ずお読みいただき、製品同梱のマニュアルは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

マニュアルの種類

セーフティーガイド(同梱)

製品をお使いいただくときに必要な「安全上のご注意」について説明しています。ご使用前に必ずお読みください。

クイックガイド(同梱)

ご購入後、すぐにお使いいただくための基本的な接続と操作を説明しています。

ユーザーガイド(本ガイド)

製品の主要な機能や設定について説明しています。トラブルシューティングやファームウェアアップデートなどの説明も含みます。本ガイドは、ウェブサイトでのみ公開しています。

本ガイドでは、注意事項などを次のように分類しています。

表記	意味
 **注意**	「傷害を負う可能性が想定される」内容です。
ご注意	製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、また環境保護のため、お守りいただく内容です。
お知らせ	使用時の注意点や機能の制約、知っておくと便利な補足情報です。

お知らせ

- 本ガイドは発行時点の最新仕様で説明をしています。
- 各ガイドの最新版(PDF)は次のウェブサイトでダウンロードできます。
  https://download.yamaha.com/

取り扱いに関する注意

本製品をご使用になる前に、セーフティーガイドをお読みください。さらに次の点にもご注意ください。

注意

- 聴覚障害防止のため、次のことをお守りください。
  - ・大音量で長時間聴かない。
  - ・入力ソースを切り替えるときは、一時的に音量を下げる。
  - ・急激に音量を上げない。
    スマートフォンやタブレットから操作すると、音量が急激に変化することがあるため、特にご注意ください。

本製品には、音量制御に関する次の機能がありますのでご活用ください。いずれも専用アプリ「MusicCast Controller」で設定します。

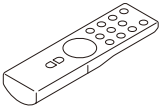
- 音量の上限
  音量の上限を設定できます。
  「設定一覧」(64ページ)
- 音量の初期値
  電源をオンにしたときの音量を設定できます。
  「設定一覧」(64ページ)

付属品の確認とリモコンの準備

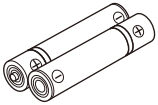
付属品の確認

付属品は次のとおりです。すべてそろっていることを確認してください。

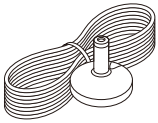
□リモコン × 1



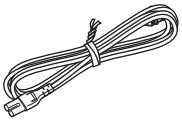
□単4乾電池 × 2



□YPAO用マイク(6 m) × 1



□電源コード(1.4 m) × 1



□セーフティーガイド(兼保証書) × 1

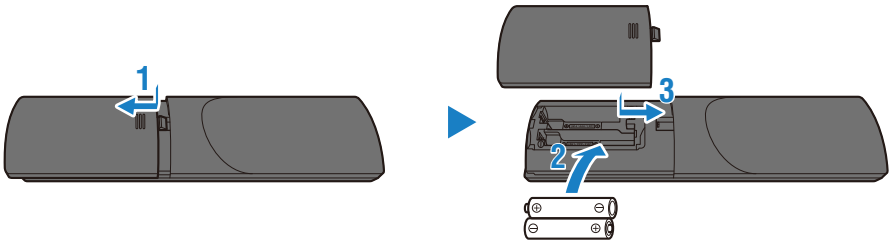
□クイックガイド × 1

リモコンの準備

付属のリモコンを使用するための準備をします。

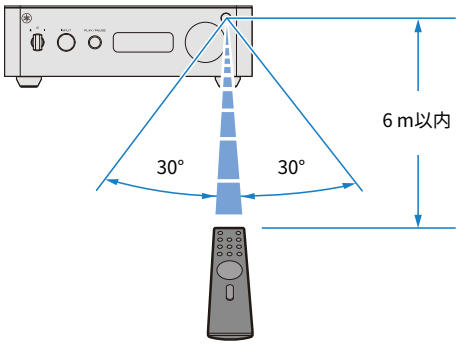
乾電池の入れ方

付属の乾電池を正しい向き(＋と－)でリモコンに入れてください。



リモコンの使い方

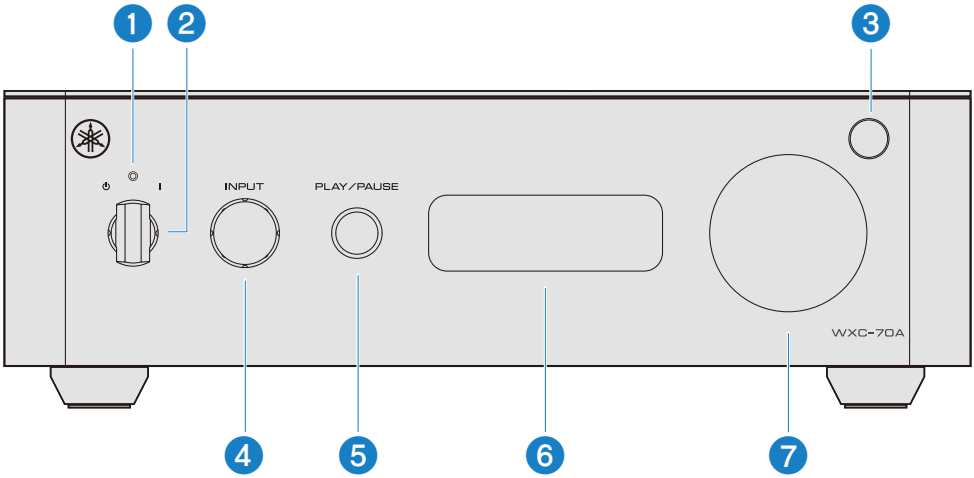
本製品のリモコンは赤外線式で、操作範囲は次の図に示すとおりです。



各部の名称と機能

フロントパネル

フロントパネルの各部の名称と機能について説明します。



❶ 電源インジケーター

電源オン時、白色で点灯します。

点滅する場合は、製品保護のため電源が入らなくなっています。詳しくは次をご覧ください。

「電源/システム/リモコンのトラブル」(74ページ)

❷ 電源スイッチ

スイッチを右に回し[|]の位置に合わせると電源オンになります。左に回し[⏻]の位置に合わせると電源オフ(スタンバイ)になります(43ページ)。

手をはなすと、スイッチは自動的に中央に戻ります。

❸ リモコン信号受信部

リモコンの信号(赤外線)を受信します(10ページ)。

❹ [INPUT]入力ソース選択ノブ

左右に回して、入力ソースを選びます(45ページ)。

❺ [PLAY/PAUSE]再生操作ボタン

コンテンツを再生または一時停止します。

❻ **情報ディスプレイ**

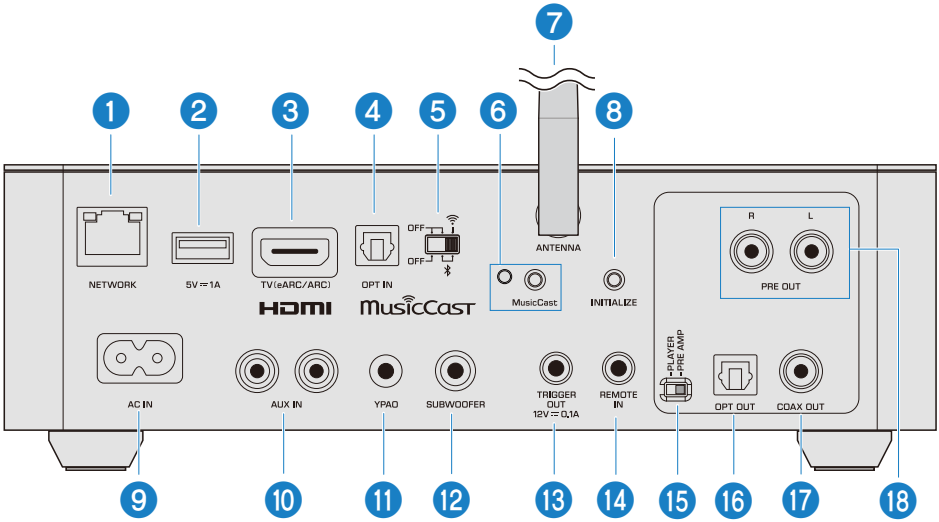
各種情報が表示されます(16ページ)。

❼ **ボリュームノブ**

左右に回して、音量を調節します(47ページ)。

リアパネル

リアパネルの各部の名称と機能について説明します。



❶ **[NETWORK](ネットワーク)端子**

本製品をネットワークに有線接続する場合、ネットワークケーブルを接続します(30ページ)。

❷ **USB端子**

USBメモリーを接続します(53ページ)。

❸ **[TV(eARC/ARC)]端子**

市販のHDMIケーブルを使って、テレビを接続します(26ページ)。

❹ **[OPT IN](光入力)端子**

光デジタル出力を持つ外部機器を接続します(28ページ)。

❺ **無線スイッチ**

無線通信機能(無線LANおよびBluetooth)のオン/オフを切り替えます(100ページ)。

❻ **[MusicCast](ミュージックキャスト)インジケーター/ボタン**

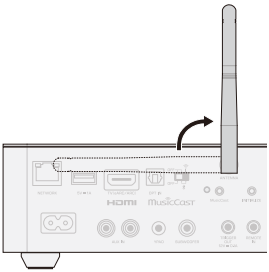
図の左側がインジケーター、右側がボタンです。

- インジケーターは、MusicCastネットワーク設定中に緑色で点滅します。また、MusicCastネットワーク接続中および有線/無線ネットワーク接続中に緑色で点灯します。
- ボタンは、本製品をMusicCastネットワークに登録するときに使用します(33ページ)。専用アプリ「MusicCast Controller」を起動後、アプリの案内に従って操作します。

❼ 無線アンテナ

無線LANおよびBluetooth用のアンテナです(30ページ、51ページ)。

無線接続が不安定な場合は、アンテナを立てると改善する場合があります。



ご注意

- 無線アンテナに無理な力を加えないでください。破損するおそれがあります。
- 無線アンテナは取り外さないでください。

❽ [INITIALIZE](イニシャライズ)ボタン

本製品を初期化する(工場出荷状態に戻す)ときに使用します(68ページ)。

❾ [AC IN](電源入力)端子

付属の電源コードを接続します(32ページ)。

❿ [AUX IN](AUX入力)端子

アナログ音声出力を持つオーディオ機器を接続します(28ページ)。

⓫ [YPAO]マイク端子

付属のYPAO用マイクを接続します(36ページ)。市販のマイクなどは接続しないでください。

⓬ [SUBWOOFER](サブウーファー)出力端子

アンプ内蔵のサブウーファーを接続します(25ページ)。

⓭ [TRIGGER OUT](トリガー出力)端子

ヤマハ製サブウーファーなど、トリガー機能に対応する外部機器を接続します(25ページ)。

⓮ [REMOTE IN](リモート入力)端子

赤外線受信機を本端子に接続すると、本製品が見えないところに収納されていても、付属のリモコンで本製品の操作ができます(29ページ)。

⓯ モード切替スイッチ

プレーヤーモードとプリアンプモードを切り替えます(20ページ)。

⑯ **[OPT OUT](光出力)端子**

光デジタル音声入力のあるオーディオアンプやパワードスピーカーを接続します(20ページ)。

⑰ **[COAX OUT](同軸出力)端子**

同軸デジタル音声入力のあるオーディオアンプやパワードスピーカーを接続します(20ページ)。

⑱ **[PRE OUT](プリアウト)端子**

アナログ音声入力のあるオーディオアンプやパワードスピーカーを接続します(20ページ)。

情報ディスプレイ

フロントパネルの情報ディスプレイに表示される内容について説明します。

基本表示

入力ソース名表示

入力ソースを切り替えると表示されます。

表示例：入力ソースを「TV」に切り替えたとき



音量表示

音量を操作すると表示されます。

表示例：音量を50にしたとき



起動中表示

本製品の起動中に表示されます。この表示中は、電源オフ(スタンバイ)以外の操作はできません。

表示例



MusicCast setup表示

[MusicCast]ボタンを長押しすると表示されます。「MusicCast Controller」からの初期設定が可能な状態です。

表示例



Network setup表示

本製品を初期化後、起動すると表示されます。「MusicCast Controller」からの初期設定およびWAC*によるWi-Fi設定が可能な状態です。

表示例



* WAC(Wireless Accessory Configuration)とはiOS端末の無線設定を別の機器に適用し、ネットワークに無線接続する機能です。

その他の表示

再生しているコンテンツの情報を取得できる場合は、局名や曲名が表示されます。

お知らせ

表示できない文字は、「□」で表示されます。

情報ディスプレイの明るさについて

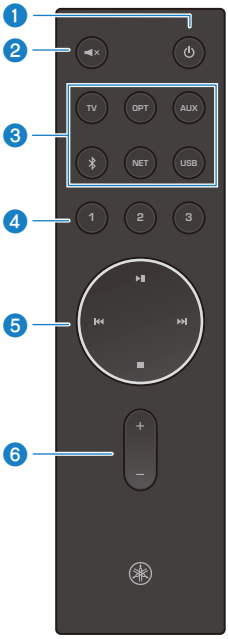
- 表示器保護のため、次のように明るさが自動的に調節されます。
  - ・操作が一定時間ないと暗くなります(減光)。
  - ・減光後、さらに操作が一定時間ないと消灯します。
- 減光または消灯後、何らかの操作をすると元の明るさに戻ります。
- 情報ディスプレイの明るさと、消灯するまでの時間は設定メニューで変更できます。

関連リンク

「設定一覧」(64ページ)

リモコン

付属リモコンの各部の名称と機能について説明します。



❶ **[⏻]電源キー**

本製品の電源をオン/オフ(スタンバイ)します(43ページ)。

❷ **[🔇]ミュート(消音)キー**

再生音を消音します。もう一度押すと元の音量に戻ります(47ページ)。

❸ **入力ソース選択キー**

再生する入力ソースを選択します(45ページ)。

お知らせ

[NET]キーは繰り返し押すことで、ネットワークソースが順に切り替わります。

❹ **[1][2][3]キー**

お気に入りのインターネットラジオ局やネットワークコンテンツを登録したり、呼び出したりします(62ページ)。

❺ 再生操作キー

[⏯]再生と一時停止を切り替えます。

[⏮]曲の先頭または前の曲へ移動します。

入力ソースが「Server」または「USB」のときは、2秒以上長押しすると、早戻しします。

[⏭]次の曲へ移動します。

入力ソースが「Server」または「USB」のときは、2秒以上長押しすると、早送りします。

[■]再生を停止します。

❻ [＋][－]キー

音量を調節します。[＋]を押すと音量が上がり、[－]を押すと音量が下がります(47ページ)。

接続

パワードスピーカーや外部アンプを接続する

モードの設定

本製品にパワードスピーカーやオーディオアンプを接続するための設定をします。

■ 事前にご確認ください

本製品には次の二つのモードが用意されています。

[PRE AMP](プリアンプ)モード

WXC-70Aをプリアンプとして使うモードです。次のような場合は、このモードでご使用ください。

- WXC-70A側で音量を調節したい場合
- YPAOを使用したい場合(アナログ接続が必要)
- パワーアンプなど、音量調節機能(ボリューム)がない機器を接続する場合

[PLAYER](プレイヤー)モード

WXC-70Aをプレイヤーとして使うモードです。次のような場合は、このモードでご使用ください。

- プリアンプなど、接続する機器側で音量を調節したい場合
- HiFiアンプなどの入力機器として使う場合

次表を参考に、使用するモードをお選びください。その後、リアパネルのモード切替スイッチを設定します。

各モードの詳細

モード	音量調節を行う機器	接続方法	YPAO	出力信号の制限
[PRE AMP]	WXC-70A	アナログ	使用できる	制限なし
		デジタル	使用できない	制限あり*2
[PLAYER]	接続した機器*1	アナログ		
		デジタル		

*1 機器側に音量調節機能(ボリューム)が必要です。

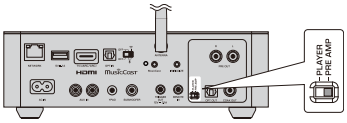
*2 次の機能は、[PRE OUT]、[OPT OUT]、[COAX OUT]の各端子から出力されるすべての音声信号に反映されません。
- トーンコントロール
- ダイアログレベル
- モノラルダウンミックス

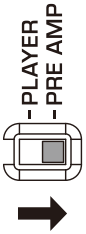
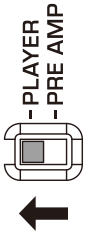
注意

- [PLAYER]モードにする場合は、WXC-70Aの音量調節は効かないため、必ず音量調節機能がある機器を接続してください。音量調節機能がない機器を接続すると、常に最大音量で再生することになり、聴覚障害の原因になります。

■ モード切替スイッチの設定

使用するモードに合わせて、リアパネルのモード切替スイッチを設定してください。



[PRE AMP](プリアンプ)モード	[PLAYER](プレイヤー)モード
スイッチを[PRE AMP]の位置に合わせます。	スイッチを[PLAYER]の位置に合わせます。
	

お知らせ

スイッチは、電源をオフ(スタンバイ)にしてから切り替えてください。電源オン中に切り替えても、設定は反映されません。次に電源をオンにしたときに反映されます。

関連リンク

- 「アナログ接続する」(22ページ)
- 「デジタル接続する」(24ページ)

アナログ接続する

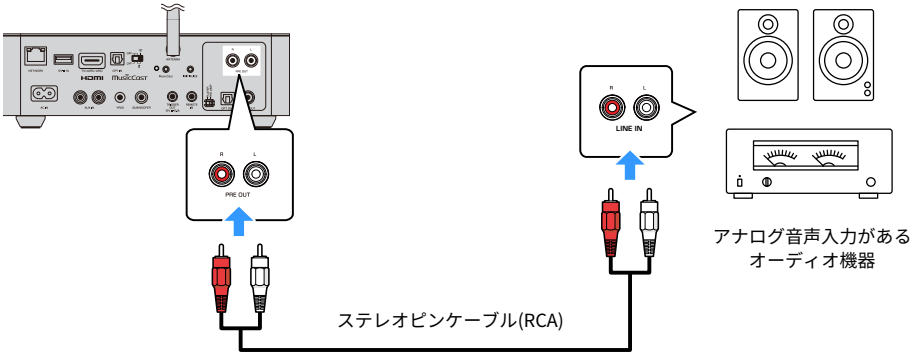
本製品にパワードスピーカーやオーディオアンプをアナログ接続します。

必要なケーブル

市販のステレオピンケーブル(RCA)をご用意ください。

接続方法

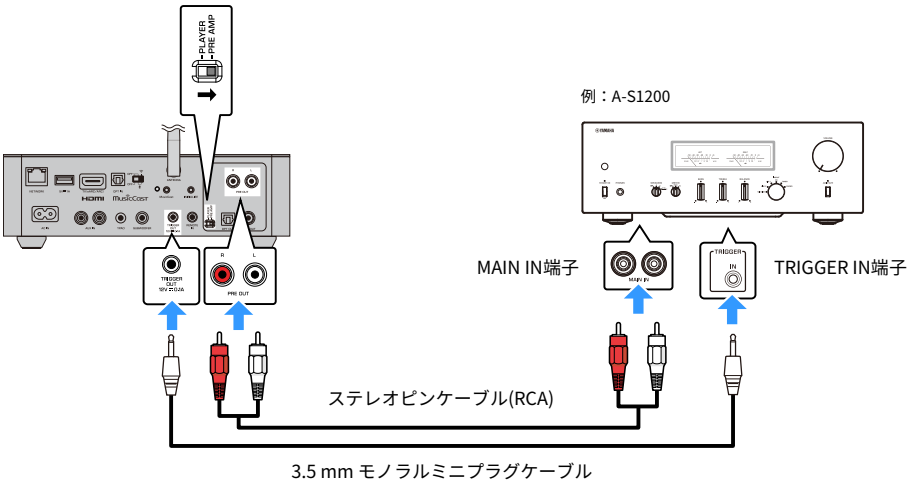
ステレオピンケーブル(RCA)を使って、本製品の[PRE OUT]端子にパワードスピーカーやオーディオアンプを接続します。



接続後は、モード切替スイッチの設定が用途に合っているか必ず確認してください。

■ ヤマハHiFiアンプ(A-Sシリーズ)を接続する場合

ヤマハHiFiアンプ(A-Sシリーズ)を次の図のように接続すると、本製品の電源のオン/スタンバイに連動して、アンプの電源もオン/スタンバイします。



お知らせ

- この例では、モード切替スイッチを[PRE AMP]側に設定し、音量はWXC-70A側で調節します。
- トリガー機能の詳細は、A-Sシリーズの取扱説明書をご参照ください。

関連リンク

「モードの設定」(20ページ)

デジタル接続する

本製品にパワードスピーカーやオーディオアンプをデジタル接続します。

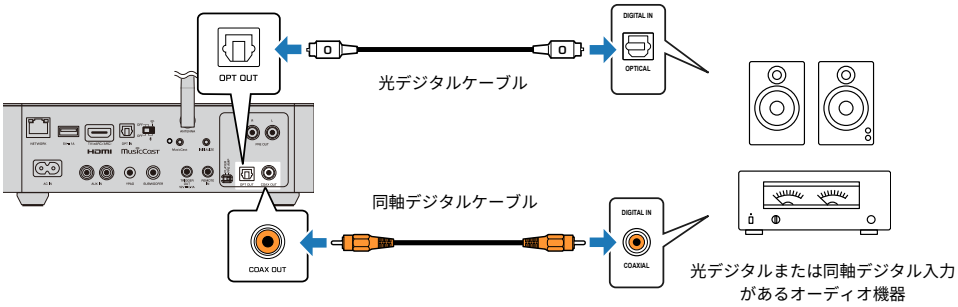
■ デジタル接続する場合

必要なケーブル

市販の光デジタルケーブルまたは同軸デジタルケーブルをご用意ください。

接続方法

光デジタルケーブルを使う場合は、本製品の[OPT OUT]端子にパワードスピーカーやオーディオアンプを接続します。同軸デジタルケーブルを使う場合は、[COAX OUT]端子に接続します。



接続後は、モード切替スイッチの設定が用途に合っているか必ず確認してください。

関連リンク

「モードの設定」(20ページ)

サブウーファーを接続する

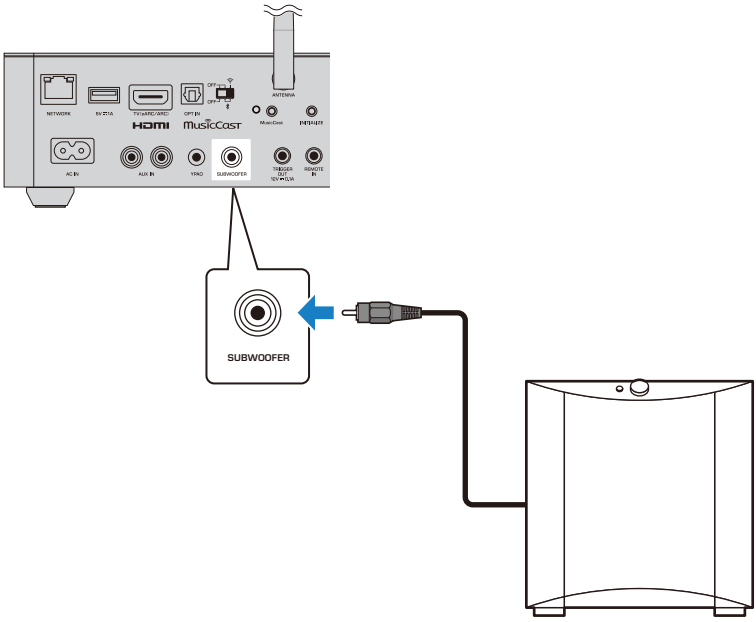
本製品にサブウーファー(アンプ内蔵)を接続します。サブウーファーを使用すると迫力ある低音が楽しめます。

必要なケーブル

市販またはサブウーファー付属のモノラルピンケーブル(RCA)をご用意ください。

接続方法

モノラルピンケーブル(RCA)を使って、本製品の[SUBWOOFER]端子にサブウーファーを接続します。



お知らせ

システム接続に対応しているヤマハ製サブウーファーは、トリガー機能により電源連動ができます。市販の3.5 mmモノラルミニプラグケーブルを使って、本製品の[TRIGGER OUT]端子とサブウーファーを接続すると、本製品の電源のオン/スタンバイに連動して、サブウーファーの電源もオン/オフします。詳しくは、サブウーファーの取扱説明書をご覧ください。

関連リンク

「スピーカー設定を自動で調整する(YPAO)」(36ページ)

テレビを接続する

本製品にeARC/ARC対応のテレビを接続します。この接続により、テレビの音声を本製品で再生できます。また、テレビと本製品の電源を連動させることもできます。

必要なケーブル

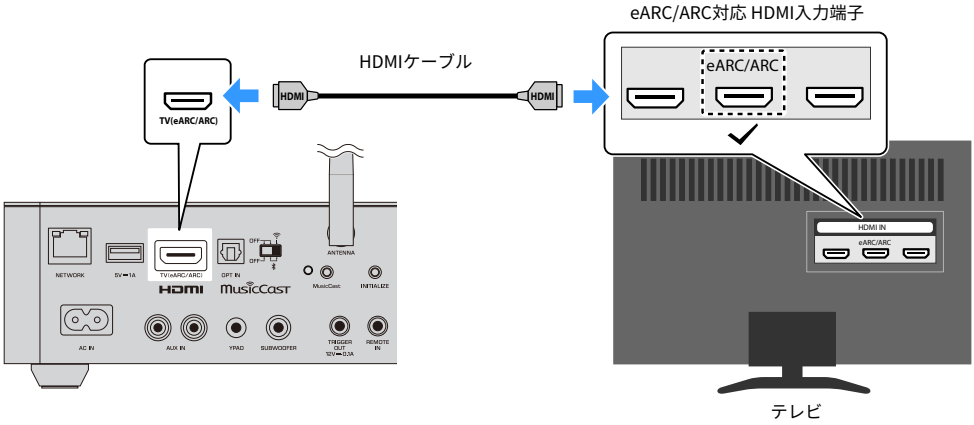
市販のHDMIケーブル(19ピン)をご用意ください。

HDMIケーブルについて

- 市販のHDMIケーブルは、次のケーブル(HDMI規格認証品)をお選びください。
  ・イーサネット対応ハイスピードHDMIケーブル
  ・イーサネット対応プレミアム・ハイスピードHDMIケーブル
  ・ウルトラハイスピードHDMIケーブル
  ・ウルトラ96 HDMIケーブル

接続方法

HDMIケーブルを使って、本製品の[TV(eARC/ARC)]端子とテレビのHDMI入力端子を接続します。



お知らせ

- テレビ側は(eARC/ARC)または(ARC)と表記されたHDMI入力端子に接続してください。
- 本製品の[TV(eARC/ARC)]端子経由で再生可能な音声信号はPCM 2チャンネルのみです。
- テレビにeARC/ARCやARC表記のHDMI端子がない場合は、光デジタル接続またはアナログ接続をご利用ください。
  「オーディオ機器を接続する」(28ページ)

テレビのHDMI端子について

テレビのHDMI端子により、テレビ側の設定が必要な場合があります。詳しくは次表およびテレビの取扱説明書をご参照ください。

テレビのHDMI端子	テレビで必要な設定など
 eARC/ARC表記がある。	eARC/ARC表記があるHDMI端子に接続した場合は、テレビ側で次の設定をしてください。 • テレビ側の音声の出力先を、テレビのスピーカーではなく外部機器(本製品)にしてください。 • eARCの設定をオンにしてください(設定がある場合)。 • HDMIコントロール設定をオンにしてください(本製品とテレビの電源連動などをしたい場合)。 • eARC/ARC出力する音声フォーマットをPCM 2チャンネルにしてください。
 ARCのみ表記がある。	ARCのみ表記があるHDMI端子に接続した場合は、テレビ側で次の設定をしてください。 • テレビ側の音声の出力先を、テレビのスピーカーではなく外部機器(本製品)にしてください。 • HDMIコントロール設定をオンにしてください。 • ARC出力する音声フォーマットをPCM 2チャンネルにしてください。
 eARCやARCの表記がない。	• eARC/ARCやARCの表記がないHDMI端子に接続した場合は、テレビの音声を再生できません。 eARC/ARCやARC表記があるHDMI端子に接続してください。 または、光デジタル接続やアナログ接続をご利用ください。 「オーディオ機器を接続する」(28ページ)

オーディオ機器を接続する

本製品にオーディオ機器を接続します。接続方法は、光デジタル接続またはアナログ接続の2種類あります。

必要なケーブル

光デジタル接続の場合

市販の光デジタルケーブルをご用意ください。

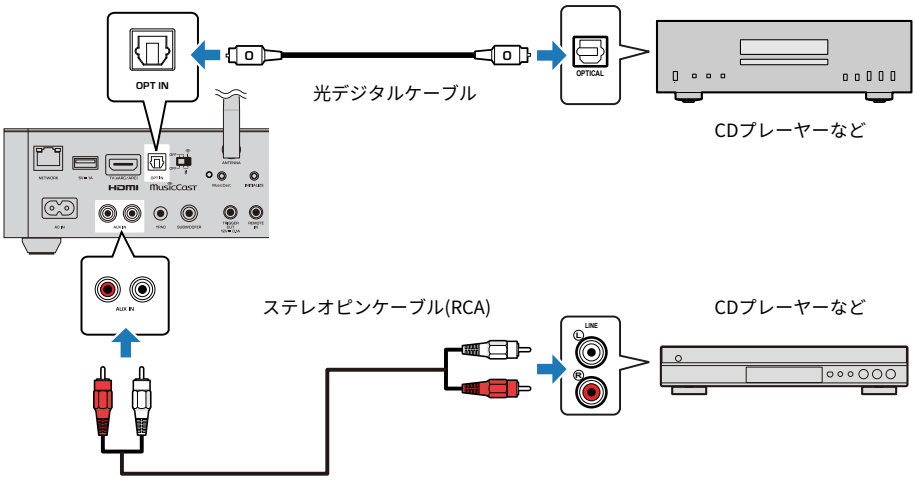
アナログ接続の場合

市販のステレオピンケーブル(RCA)をご用意ください。

接続方法

デジタル接続の場合は、光デジタルケーブルを使って、本製品の[OPT IN]端子にオーディオ機器を接続します。

アナログ接続の場合は、ステレオピンケーブル(RCA)を使って、本製品の[AUX IN]端子にオーディオ機器を接続します。



赤外線受信機を接続する(リモート接続)

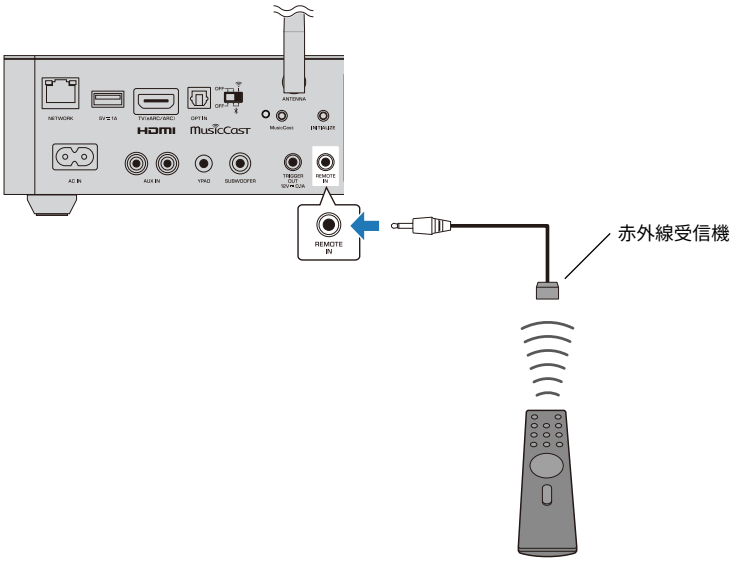
市販の赤外線受信機を本製品の[REMOTE IN]端子に接続すれば、本製品をリモコンの信号が届かない場所に設置した場合でも、リモコンで本製品を操作できます。

必要な機器とケーブル

市販の赤外線受信機とその機器用のケーブルをご用意ください。本製品の[REMOTE IN]端子は3.5 mmモノラルミニプラグに対応しています。

接続方法

本製品の[REMOTE IN]端子に赤外線受信機を接続します。



ネットワーク接続について

本製品は無線ネットワーク接続および有線ネットワーク接続に対応しています。お使いのネットワーク環境に合わせて、接続方法を選んでください。

■ 接続方法

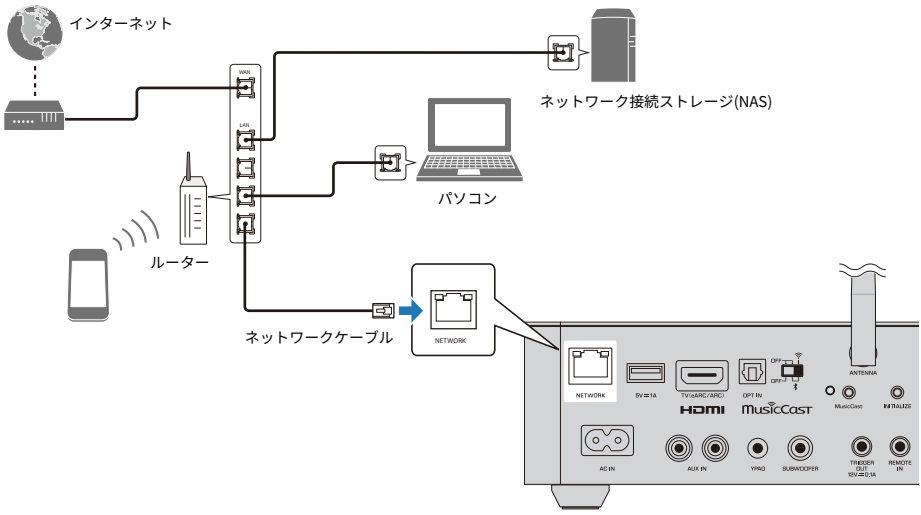
無線ネットワーク接続

無線接続する場合は、専用アプリ「MusicCast Controller」を使って設定するため、事前の準備は必要ありません。詳しくは次をご覧ください。

「MusicCastを設定する(セットアップ)」(33ページ)

有線ネットワーク接続

有線接続する場合は、市販のネットワークケーブルを使って、本製品をルーターに接続します。ネットワークケーブルは本製品の[NETWORK]端子に接続します。



ご注意

- 本製品をインターネットに接続する場合は、セキュリティーを保つため必ずルーターなどを経由し接続してください。経由するルーターなどには適切なパスワードを設定してください。電気通信事業者(移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど)の通信回線(公衆無線LANを含む)には直接接続しないでください。

お知らせ

ネットワークケーブルは、電磁干渉防止のため、CAT5e以上でストレートタイプのSTP(Shielded Twisted Pair)ケーブル(シールド付きツイストペアケーブル)をお使いください。

電源コードを接続する

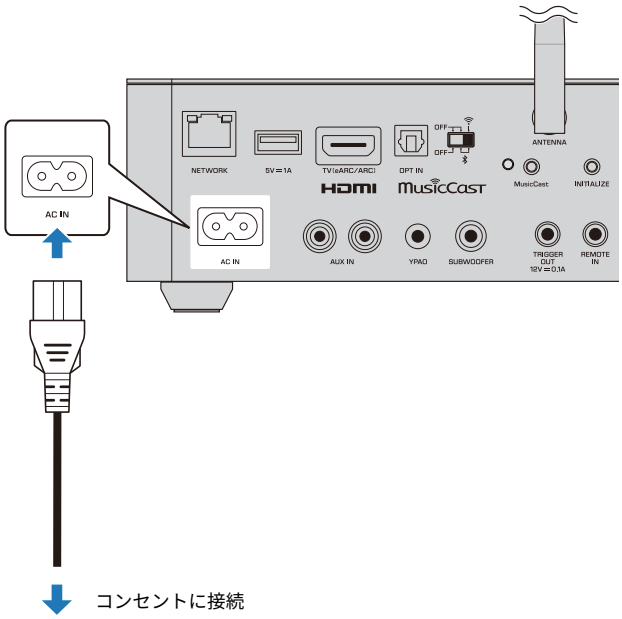
すべての機器の接続が完了した後、付属の電源コードを接続します。

必要なケーブル

付属の電源コードを使用します。

接続方法

電源コードを本製品の[AC IN]端子に接続し、次に電源プラグをコンセントに挿します。



アプリのインストールと設定

MusicCastを設定する(セットアップ)

専用アプリ「MusicCast Controller」を使って、本製品をMusicCastネットワークに登録します。

同時に本製品の無線ネットワークの接続設定や自動音場補正 (YPAO)も行えます。
「MusicCast Controller」は、スマートフォンやタブレット用の無料アプリケーションです。

必要な機器

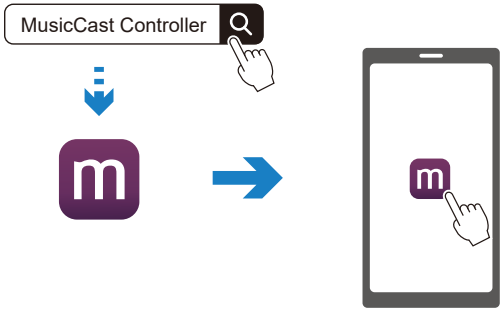
- WXC-70A本体
  電源コード接続済みであること。
- パワードスピーカーや外部アンプ
  [PRE AMP]モードで動作する接続が必要です。詳しくは次をご覧ください。
  「パワードスピーカーや外部アンプを接続する」(20ページ)
- スマートフォンやタブレット
  ・無線LANルーター(アクセスポイント)に接続済みであること。
  ・Bluetooth機能がオンになっていること。

お知らせ

有線ネットワーク接続している場合でも、必ず本手順に従ってMusicCastネットワークに登録してください。登録しない場合、「MusicCast Controller」を使って本製品を操作できません。

操作手順

1 **「MusicCast Controller」をスマートフォンやタブレットにインストールする。**
アプリはApp StoreまたはGoogle Playで「MusicCast Controller」を検索してください。



2 **インストールしたアプリを起動する。**

3 **「新しい機器を登録する」をタップして、セットアップを開始する。**



4 **アプリの案内に従ってセットアップを進める。**
案内に従って、アプリや製品本体を操作してください。

操作のポイント

- アプリのデバイス選択画面では、本製品「WXC-70A」を選びます。
- 新しいファームウェアがある場合はファームウェアアップデートの案内が表示されます。案内に従ってアップデートを実施してください(アップデートはスキップできません)。
- セットアップ中、情報ディスプレイに次のメッセージが表示されます。引き続き、アプリの案内に従ってセットアップを進めてください。
  - 「Network Setup」：初回設定(本製品の初期化後も含む)であることを示しています。
  - 「MusicCast Setup」：MusicCast設定中であることを示しています。

5 セットアップの完了を確認する。

セットアップが完了すると、アプリに完了画面が表示されます。



スピーカー設定を自動で調整する(YPAO)

YPAOとは

YPAO(Yamaha Parametric room Acoustic Optimizer)とは、ヤマハ独自の自動音場補正機能です。付属のマイクを使って部屋の音響特性を測定し、スピーカーの距離などを考慮して、最適な音質に自動で調整します。

YPAOは、専用アプリ「MusicCast Controller」で行います。

YPAOに必要な接続と設定

- YPAOを実行し、その効果を得るには、次の接続と設定が必要です。
  ・パワードスピーカーや外部アンプをアナログ接続する。
  ・WXC-70A側で音量調節を行う設定([PRE AMP]モード)にする。
- 詳しくは次をご覧ください。
  ・「パワードスピーカーや外部アンプを接続する」(20ページ)

■ YPAOが必要な場合

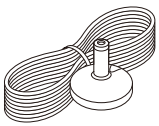
次の場合はYPAOを実行してください。

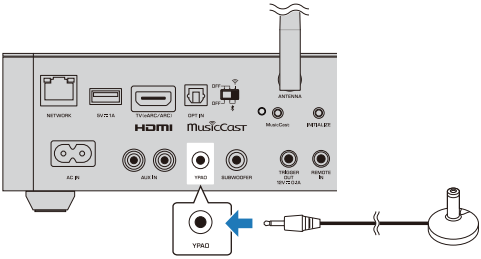
- 初めてスピーカーを設置したとき
- スピーカーの位置を変更したとき
- リスニングポジションを変更したとき
- サブウーファーを追加または取り外したとき

■ 使用する付属品

あらかじめ次の付属品をお手元に用意していただくと、YPAOをスムーズに進められます。

YPAO用マイク



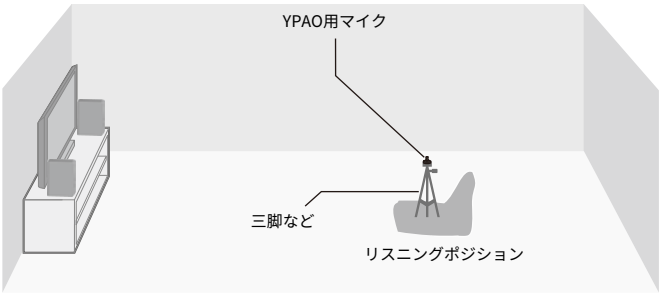


- YPAO用マイクは、リアパネルの[YPAO]マイク端子に接続します。
- アプリの指示に従って接続します。指示があるまで接続しないでください。

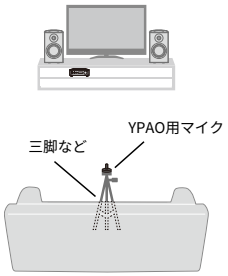
■ YPAO用マイクの設置例

次の図を参考に、YPAO用マイクを部屋に設置します。

部屋の横から見た場合



部屋の後方から見た場合



- YPAO用マイクは、リスニングポジションで床と平行になるように設置してください。
- YPAO用マイクは、カメラ用の三脚に取り付けることもできます。

ご注意

- 設置後は、YPAOマイクのケーブルにつまずかないようにご注意ください。マイクやケーブルが破損するおそれがあります。

■ YPAOを始めるには？

専用アプリ「MusicCast Controller」で次のように操作します。

- 初めてスピーカーを部屋に設置した場合は、アプリの起動画面で「新しい機器を登録する」をタップし、指示に従って初期セットアップを進めてください。YPAOは初期セットアップの中で行います。

- 初期セットアップ後にスピーカーの位置を変更した場合や、YPAOをやり直す場合は、アプリの設定メニューから「スピーカー & 音場補正/YPAOをセットアップする」を選んでください。

YPAO実行時のご注意

- YPAO実行中は、大きな音(テストトーン)が出ます。音量調節はできません。
- 調整が正しく行えるように、YPAO実行中は次の点に注意してください。
  ・周囲で大きな音を立てない。
  ・スピーカーとYPAO用マイクの間を遮らない。
- YPAO用マイクは、アプリで指示されてから接続してください。

■ YPAOが終わったら

YPAO終了後、YPAO用マイクは必ずマイク端子から抜いてください。

エラーと警告メッセージについて

YPAO測定時、エラーメッセージや警告メッセージが表示された場合は、次の表をもとに原因を解消し、再測定してください。

■ エラーの種類

エラー番号	エラーの内容
コード 005	ノイズレベルが高すぎます。部屋が静かになってから再測定してください。「続行」を選んだ場合は、雑音を検出してもエラーを無視する条件で再測定します。
コード 008	テストトーンを検出できません。マイクをYPAO端子にしっかりと接続し、YPAOを再試行してください。
コード 009	本体操作によりキャンセルされました。
コード 031	スピーカーが見つかりません。中止ボタンを押して、本体の電源を切ってからスピーカーの接続を確認してください。
コード 051	マイクが接続されていません。マイクをYPAO端子にしっかりと接続してください。
コード 061	PLAYERモードになっています。本体の電源を切ってから、本体背面のスイッチでPRE AMPモードに切り替えてください。
コード 101-199	内部エラーが発生しました。YPAOを終了し、本体の電源を一度切ってから再度入れ直してください。

■ 警告の種類

警告メッセージが表示されていても測定結果を保存できますが、最適なスピーカー設定で使用するには、原因を解消してから再測定することをおすすめします。

警告メッセージ	警告の内容
スピーカーがリスニングポジションから24m（80フィート）以上離れた位置に置かれています。	YPAOの測定結果を参考に、スピーカーの位置を調節してください。
スピーカー間に大きな音量差があります。	YPAOの測定結果を参考に、スピーカーの位置を調節してください。また、サブウーファーの音量が適切か確認してください。

警告メッセージ	警告の内容
スピーカーケーブルの極性（+/-）が逆に接続されている可能性があります。	スピーカーのケーブル接続(＋と－)を確認してください。 **間違って接続されている場合：** スピーカーケーブルを接続し直してください。 **正しく接続されている場合：** スピーカーの種類や設置環境によっては、正しく接続されていてもこのメッセージが表示されることがあります。測定結果を保存し、そのままお使いください。 お客様への確認を促すメッセージであり、そのままお使いいただいても本製品の再生に影響はありません。

YPAO測定結果の確認と設定変更

YPAO測定結果の確認と設定変更は、専用アプリ「MusicCast Controller」で行います。「MusicCast Controller」をインストールしたスマートフォンやタブレットから操作してください。

■ YPAO測定結果の確認

1. **モバイル機器で「MusicCast Controller」を起動し、部屋を選択後、設定アイコンをタップする。**
2. **設定画面の「部屋の設定」で、本製品を設置した部屋をタップする。**
3. **部屋画面(本製品)の「スピーカー & 音場補正」項目の「スピーカー設定」をタップする。**
4. **YPAO測定結果を確認する。**

■ 設定項目

「スピーカー設定」では、次表の項目の設定変更もできます。詳しくはアプリの画面をご覧ください。

設定項目	説明
YPAO	YPAO測定結果をスピーカー設定に反映するか、しないかを選択します。
サブウーファー	サブウーファーを使用するか、しないかを設定します。
フロントスピーカー周波数	左/右スピーカーへ出力する周波数帯域を設定します。低域カットを選択した場合は、設定したクロスオーバー周波数が適用されます。 サブウーファーを使用しない場合は設定できません。
サブウーファー周波数	スピーカーとサブウーファーのクロスオーバー周波数を設定します。 サブウーファーを使用しない場合は設定できません。
スピーカーの距離	各スピーカーからの音が同時に届くように、リスニングポジションからスピーカーまでの距離を個別に設定します。
スピーカーの音量	各スピーカーの音量がリスニングポジションで同じに聞こえるように、個別に設定します。
イコライザー	YPAO測定結果に基づいたイコライザーを使用するか、しないかを設定します。
YPAOボリューム	「YPAOボリューム」を「オン」にすると、音量に連動して低音域/高音域のバランスが自動調整され、小音量でも自然な音質バランスにて楽しめます。

お知らせ

サブウーファーをご利用になる場合は、サブウーファー設置後にYPAO測定を行うと、低音域から中音域のつながりがスムーズになります。低音域の音量に過不足を感じる場合は、「スピーカーの音量」項目の「SW」でお好みの音量に調節してください。

基本操作

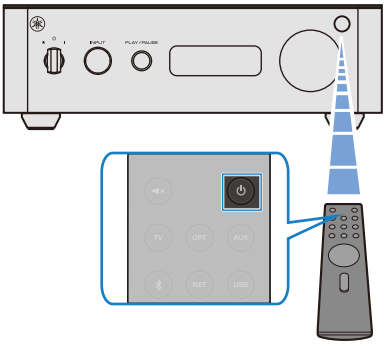
電源をオン/オフ(スタンバイ)する

リモコンまたはフロントパネルの電源スイッチを使って、電源をオン/オフ(スタンバイ)します。

■ 電源の操作方法

リモコンを使う場合

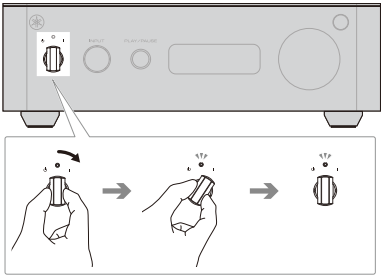
リモコンを本製品に向け、[⏻]キーを押して電源をオンにします。



電源をオフ(スタンバイ)するときは、再度[⏻]キーを押します。

フロントパネルの電源スイッチを使う場合

電源をオンにするときは、電源スイッチを右に回し、[|]マークの位置に合わせます。手をはなすと、スイッチは自動的に中央に戻ります。



電源をオフ(スタンバイ)するときは、スイッチを左に回し、[⏻]マークの位置に合わせてから、中央に戻します。

お知らせ

電源オン時は、電源インジケーターが白色で点灯します。

自動スタンバイ機能について

- 本製品は、20分間操作や音声の再生がない場合、自動的に電源がオフ(スタンバイ)になります。
- オフ(スタンバイ)になる30秒前から、情報ディスプレイにオフ(スタンバイ)になるまでの秒数が表示されます。
  表示例：「Auto standby: 30 sec」(スタンバイまで残り30秒)
- オフ(スタンバイ)になるまでの時間を延長したい場合は、音量操作や入力ソース選択など、何らかの操作を行うか、音声の再生を開始してください。
- 自動スタンバイ機能は、設定変更により無効(オフ)にできます。
  ・「設定一覧」(64ページ)

入力ソースを選ぶ

再生する入力ソースを選びます。



リモコンの入力ソース選択キーを押して、目的の入力ソースを選択します。

フロントパネルの[INPUT]入力ソース選択ノブを左右に回して、入力ソースを選ぶこともできます。

入力ソース選択キー	再生される音声
[TV]	[TV(eARC/ARC)]端子(HDMI)経由で入力されたeARC/ARC対応テレビの音声
[OPT]	[OPT IN]端子経由で入力された音声
[AUX]	[AUX IN]端子経由で入力された音声
[ᛒ]	本製品と接続したBluetooth機器からの音声
[NET]	ネットワークコンテンツの音声 ネットワークコンテンツには複数の種類があります。[NET]キーを繰り返し押すことで、希望のコンテンツを選択できます。
[USB]	USBメモリーに記録された音楽の音声

入力ソースを選択すると、情報ディスプレイに入力名が表示されます。

表示例：入力ソースをTVにしたとき

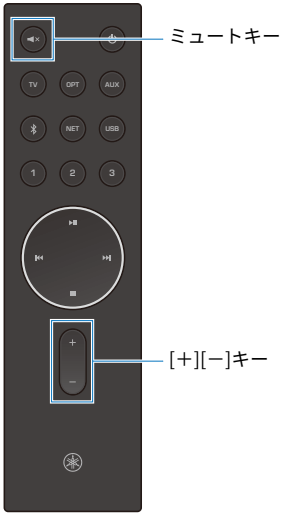


お知らせ

本製品の電源がオフ(スタンバイ)状態のときに、リモコンの入力ソース選択キーを押すと、自動的に電源がオンになります。

音量を調節する

再生音量を調節したり、ミュート(消音)したりします。



■ 音量の操作方法

リモコンの[+]キーを押すと音量が上がり、[−]キーを押すと音量が下がります。
音量を操作すると、フロントパネルの情報ディスプレイに0〜100の数値が表示されます。

音量(数値表示)



お知らせ

- フロントパネルのボリュームノブでも操作できます。
- 専用アプリ「MusicCast Controller」で音量の上限と、電源オン時の初期音量を設定できます。
- 音量の上限を設定している場合は、その設定値を超える音量にはできません。上限に達したあと、さらに音量を上げようとすると「MAX」と表示されます。

■ ミュートの操作方法

リモコンの[🔇]ミュートキーを押すと消音します。もう一度押すと、元の音量に戻ります。
ミュートすると、情報ディスプレイに「MUTE」と表示されます。

音量最小(MUTE)



再生

テレビの音声を本製品で聴く

[TV(eARC/ARC)]端子(HDMI)に接続したテレビの音声を再生します。
次の手順で操作してください。

1 **テレビの電源をオンにする。**

2 **リモコンの[TV]キーを押す。**
入力ソースがテレビ([TV])に切り替わります。
同時に、テレビの音声出力先が切り替わり、本製品からテレビの音声が再生されます。

テレビの設定について

本製品の[TV(eARC/ARC)]端子では、PCM 2チャンネルの音声のみ再生可能です。
テレビ側のeARC/ARC音声出力設定をPCM 2チャンネルに変更してください。正しく設定されていないと、音声が再生されなかったり、大きなノイズとして再生されたりすることがあります。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

関連リンク

- 「テレビを接続する」(26ページ)
- 「テレビとの接続(HDMI)のトラブル」(78ページ)

オーディオ機器の音声を聴く

[OPT IN]端子または[AUX IN]端子に接続した機器(CDプレーヤー、携帯音楽プレーヤー、テレビなど)の音声を再生します。

次の手順で操作してください。

1. **オーディオ機器の電源をオンにする。**
2. **リモコンの[OPT]キーまたは[AUX]キーを押して、目的の入力ソースを選ぶ。**
   選択した入力ソースに切り替わります。
3. **オーディオ機器を操作して再生を開始する。**

お知らせ

本製品の電源がオフ(スタンバイ)のときに、リモコンの入力ソース選択キーを押すと、本製品の電源が自動的にオンになります。

関連リンク

- 「オーディオ機器を接続する」(28ページ)
- 「音声のトラブル」(76ページ)

Bluetooth®機器の音声を聴く

Bluetooth機器の音声を再生します。

本製品は2台のペアリング済みのBluetooth機器と同時に接続できるマルチポイント接続に対応しています。

注意

- Bluetooth機器で音量を調節すると、意図せず音量が大きくなり、聴覚障害や機器の損傷の原因になる場合があります。
- 再生中に音量が急激に上がった場合は、すぐに再生を停止してください。



Bluetooth機器
(スマートフォンなど)

■ 初めてBluetooth機器を接続するとき(1台目の機器)

1 **リモコンの[ᛒ]キーを押す。**
入力ソースがBluetoothに切り替わり、ペアリングモードになります。
ペアリングモードは2分で解除されます。

2 **Bluetooth機器で本製品 (本製品のネットワーク名称)を選ぶ。**
パスキーの入力を求められた場合は、数字「0000」を入力してください。
Bluetooth接続すると、情報ディスプレイに「Connected」と表示されます。

3 **Bluetooth機器で音声を再生する。**

■ 2台目以降のBluetooth機器を接続するとき

1 **リモコンの[ᛒ]キーを押す。**
入力ソースがBluetoothに切り替わります。

2 **リモコンの[ ]キーを長押しする(5秒以上)。**
ペアリングモードになります。
ペアリングモードは2分で解除されます。

3 **Bluetooth機器で本製品 (本製品のネットワーク名称)を選ぶ。**
パスキーの入力を求められた場合は、数字「0000」を入力してください。
Bluetooth接続すると、情報ディスプレイに「Connected」と表示されます。

4 **Bluetooth機器で音声を再生する。**

お知らせ

- 再生中はBluetooth機器から本製品の音量を操作できます(Bluetooth機器によっては操作できない場合があります)。
- リモコンの[■](停止)キー、[▶II](再生と一時停止)キーで、Bluetooth機器の再生を操作できます。フロントパネルの[PLAY/PAUSE]再生操作ボタンでも操作できます。
- Bluetooth機器との接続を切断するには、次のいずれかの操作をします。
  ・Bluetooth機器で切断操作をする。
  ・本製品の入力ソースを「Bluetooth」以外に切り替える。

マルチポイント接続について

- マルチポイント接続できるBluetooth機器は2台までです。別のBluetooth機器と接続する場合は、接続している2台のうち、どちらか1台とのBluetooth接続を切断してください。
- 音楽の再生は接続中のどちらの機器からでもできますが、後から再生を始めた機器が優先されます。2台同時に音楽を再生することはできません。
- マルチポイント接続の動作は、Bluetooth機器により異なります。使用するBluetooth機器のアプリやソフトウェアによっては、正しく動作しない場合があります。すべてのBluetooth対応機器の動作を保証するものではありません。

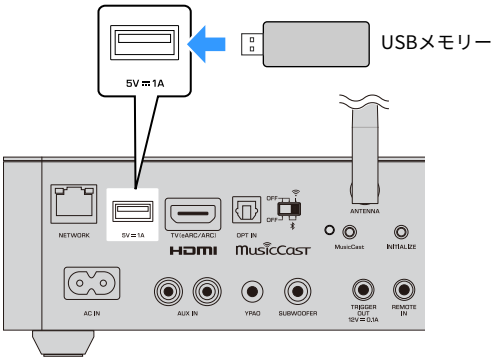
関連リンク

- 「Bluetoothのトラブル」(80ページ)
- 「対応しているBluetooth機器」(88ページ)

USBメモリーの曲を再生する

USBメモリーに記録された音楽ファイルを再生します。
次の手順で操作してください。

1　本製品リアパネルのUSB端子にUSBメモリーを接続する。



2　リモコンの[USB]キーを押す。
最後に再生していた曲が記憶されている場合、自動的にその曲が再生されます。
自動的に再生されない場合は、リモコンの[⏯]キーを押してください。フロントパネルの[PLAY/PAUSE]再生操作ボタンでも操作できます。

3　リモコンの[⏮]キーまたは[⏭]キーで目的の曲を選ぶ。
それぞれのキーを2秒以上長押しすると、早戻し/早送りします。

再生を停止するには、リモコンの[■]キーを押します。

専用アプリ「MusicCast Controller」を使うと、USBメモリー内の曲の一覧表示や、リピート/シャッフル再生など、より詳細な再生操作ができます。

お知らせ

- 本製品に初めてUSBメモリーを接続した場合は、USBメモリーの最上位のフォルダー(ルートフォルダー)内の先頭曲が自動再生されます。
- ファイル数が多いと読み込みに時間がかかる場合があります。
- 再生可能な曲は最大500曲です。フォルダー構造により、最大曲数は減少する場合があります。
- ファイル破損防止のため、USBメモリーを取り外すときは再生を停止してください。
- USBメモリーは直接USB端子に接続してください。
- USB端子にUSBメモリー以外の機器を接続しないでください。また、充電用途に使用しないでください。
- 本製品がスタンバイ中は、USB端子に電源が供給されません。
- お使いのUSBメモリーによっては、正常に動作しないことがあります。

関連リンク

- 「USBのトラブル」(81ページ)
- 「対応しているUSB機器」(89ページ)

AirPlayで音楽を聴く

AirPlayを使って、音楽などを本製品で再生します。iPhoneやiTunes/ミュージックのAirPlayアイコンをタップ(クリック)し、音声の出力先として本製品(ネットワーク名)を選択してください。



注意

- 再生中は、AirPlay機器から本製品の音量を操作できます。
- AirPlay機器で音量を操作すると、意図せず音量が大きくなり、聴覚障害や機器の損傷の原因になる場合があります。
- 再生中に音量が急激に上がった場合は、すぐに再生を停止してください。

お知らせ

- AirPlay機器に表示される本製品のネットワーク名は、専用アプリ「MusicCast Controller」で設定した「部屋の名前」です。
- AirPlayについて詳しくは、Apple社のホームページをご覧ください。

Google Cast™で音楽を聴く

WXC-70AはGoogle Castに対応しています。Google Castアイコンをタップするだけで、数百ものアプリからお気に入りの音楽や音声を本製品にストリーミング再生できます。

Google Castのセットアップについて

- 本機能を初めて使用する場合は、Google Castのセットアップが必要です。
- 本製品の初期セットアップ時、専用アプリ「MusicCast Controller」によるGoogle Castのセットアップをスキップした場合は、アプリの設定メニュー「外部サービス/Google Cast」をご確認の上、セットアップを行ってください。

ここではスマートフォンやタブレットにインストールしたGoogle Cast対応アプリで、音楽を再生する例を説明します。

1 Google Cast対応アプリを起動します。

2 Google Castアイコンをタップします。



3 デバイスリストから本製品(ネットワーク名)を選択します。

注意

- 再生中はスマートフォンやタブレットから本製品の音量を操作できます。
- スマートフォンやタブレットで音量を操作すると、意図せず音量が大きくなり、聴覚障害や機器の損傷の原因になる場合があります。
- 再生中に音量が急激に上がった場合は、すぐに再生を停止してください。

お知らせ

- デバイスリストに表示される本製品のネットワーク名は、専用アプリ「MusicCast Controller」で設定した「部屋の名前」です。
- Google Castについて詳しくは、次のウェブサイトをご覧ください。
  https://www.android.com/better-together/#cast
- Google Cast は Google LLC の商標です。

メディアサーバー(パソコン/NAS)の曲を再生する

本製品と同じネットワークに接続されたメディアサーバー(パソコン/NAS)に保存されている音楽ファイルを再生します。

専用アプリ「MusicCast Controller」を使って、メディアサーバーの曲一覧を表示し、お好みの音楽ファイルを選択してください。アプリを使うと、リピート/シャッフル再生などさまざまな再生操作ができます。

お知らせ

事前に、メディアサーバー各機器またはメディアサーバーソフトでメディア共有設定を有効にする必要があります。詳しくは各機器またはソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

本製品のリモコンでは、基本的な操作ができます。次の手順で操作してください。

1. **リモコンの[NET]キーを繰り返し押して、入力ソースを「Server」に切り替える。**
   最後に再生していた曲が記憶されている場合は、自動的に再生が開始されます。
   自動的に再生されない場合は、リモコンの[⏯]キーを押してください。フロントパネルの[PLAY/PAUSE]再生操作ボタンでも操作できます。
2. **リモコンの[⏮]キーまたは[⏭]キーで目的の曲を選ぶ。**
   それぞれのキーを2秒以上長押しすると、早戻し/早送りします。

再生を停止するには、リモコンの[■]キーを押します。

「MusicCast Controller」を使うと、リピート/シャッフル再生など、より詳細な再生操作ができます。

お知らせ

- お好みのコンテンツをプリセットに登録し、簡単に呼び出せます。
  - 「プリセット機能」(62ページ)
- 無線ネットワーク接続時に音声が途切れる場合は、有線ネットワーク接続してください。
  - 「ネットワーク接続について」(30ページ)

インターネットラジオを聴く

インターネットラジオ局の音声を再生します。

「MusicCast Controller」を使って、インターネットラジオ局の一覧を表示し、お好みの局を選択してください。

本製品のリモコンでは、基本的な操作ができます。次の手順で操作してください。

1 リモコンの[NET]キーを繰り返し押して、入力ソースを「Net Radio」に切り替える。

最後に再生していた局が記憶されている場合は、自動的に再生が開始されます。

再生を停止するには、リモコンの[■]キーを押します。

お知らせ

- お好みのインターネットラジオ局をプリセットに登録し、簡単に呼び出せます。
  ・「プリセット機能」(62ページ)
- インターネットラジオ局は、通信状況や時間帯によって受信できない場合があります。
- この機能は、airable.Radioのサービスを利用します。airableは、airable GmbHが提供するサービスです。本サービスについては、予告なく変更、停止または終了することがあります。ヤマハ株式会社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ポッドキャストを聴く

ポッドキャストの音声を再生します。

専用アプリ「MusicCast Controller」を使って、ポッドキャストの一覧を表示し、お好みのコンテンツを選択してください。アプリを使うと、リピート/シャッフル再生(エピソード形式に限る)などさまざまな再生操作ができます。

本製品のリモコンでは、基本的な操作ができます。次の手順で操作してください。

1 リモコンの[NET]キーを繰り返し押して、入力ソースを「Podcasts」に切り替える。

最後に再生していたコンテンツが記憶されている場合は、自動的に再生が開始されます。

自動的に再生されない場合は、リモコンの[⏯]キーを押してください。フロントパネルの[PLAY/PAUSE]再生操作ボタンでも操作できます。

2 リモコンの[⏮]キーまたは[⏭]キーで目的のコンテンツを選ぶ。

再生を停止するには、リモコンの[■]キーを押します。

お知らせ

- お好みのポッドキャストコンテンツをプリセットに登録し、簡単に呼び出せます。
  ・「プリセット機能」(62ページ)
- この機能は、airable.Radioのサービスを利用します。airableは、airable GmbHが提供するサービスです。本サービスについては、予告なく変更、停止または終了することがあります。ヤマハ株式会社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ストリーミングサービスを聴く

各ストリーミングサービスが配信するコンテンツを再生します。再生にはストリーミングサービス各社が提供する専用アプリを使います。

お知らせ

対応するストリーミングサービスについては、「主な仕様」(93ページ)の「ネットワーク機能」をご覧ください。

コンテンツを再生するにはそれぞれのサービスの専用アプリから、再生デバイスとして本製品を選んでください。詳しくはストリーミングサービス各社のホームページをご覧ください。

ストリーミングサービスについて

- 対応するストリーミングサービスは、製品をご購入された地域やご使用になる地域によって異なります。製品が対応していても、サービス提供地域以外ではご利用になれません。また、サービス提供地域であっても、製品が対応していなければご利用になれません。
- ストリーミングサービスによっては、有料サービスの申し込みや専用アプリが必要になる場合があります。各ストリーミングサービスについては、サービス提供者のウェブサイトをご覧ください。
- ストリーミングサービスが提供するサービスについては、予告なく変更、停止または終了されることがあります。ヤマハ株式会社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

他のMusicCast機器の音声を聴く

複数のMusicCast機器で音声を共有できます。例えば、別の部屋に設置したMusicCast機器で再生している音声を、同時に本製品で再生できます。

また、本製品に接続したソース機器の音声を再生しながら、別の部屋のMusicCast機器で再生することもできます。これらは専用アプリ「MusicCast Controller」を使って操作します。

お知らせ

ほかのMusicCast機器で再生している音声を本製品で再生している場合は、情報ディスプレイに「MusicCast Link」と表示されます。

便利な機能

プリセット機能

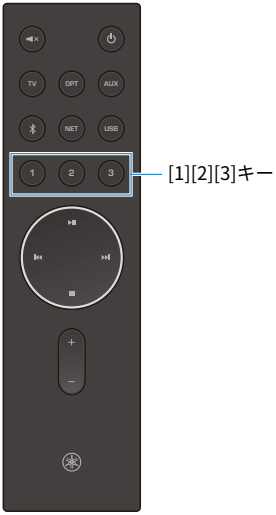
お好みのコンテンツ(再生中の曲やインターネットラジオ局など)をプリセットに登録すると、そのコンテンツを簡単に呼び出せます。

プリセットの登録と呼び出しは専用アプリ「MusicCast Controller」を使います。プリセット番号1、2、3は、本製品のリモコンでも登録や呼び出しができます。

お知らせ

- 登録数は最大40個です。
- 登録できるのは次の入力ソースのコンテンツです。
  - 「USB」
  - 「Server」
  - 「Net Radio」
  - ストリーミングサービスの一部
- 「Bluetooth」は入力ソースとしてのみ登録できます。再生中の曲を登録することはできません。
- 「Net Radio」とストリーミングサービスは、選択したラジオ局やサービスによって、登録できる内容が異なります。

■ リモコン[1][2][3]キーへの登録と呼び出し



プリセット登録

1 **登録したい曲やインターネットラジオ局などを再生する。**

2 **登録したい番号(リモコン[1][2][3]キーのいずれか)を、3秒以上押す。**
既に登録がある場合は、上書きされます。
正しく登録できると、情報ディスプレイに登録した番号が表示されます。
表示例：プリセット番号1に登録したとき



これで登録は完了です。

プリセット呼び出し

1 **呼び出したい番号(リモコン[1][2][3]キーのいずれか)を押す。**
情報ディスプレイに呼び出した番号と入力ソース名が表示されます。
表示例：プリセット番号1に「Net Radio」が登録されていたとき



呼び出したコンテンツが再生されます。

お知らせ

呼び出した番号に何も登録されていない場合は、次のように表示されます。

- 表示例：プリセット番号3に何も登録されていないとき



関連リンク

- 「USBメモリーの曲を再生する」(53ページ)
- 「メディアサーバー(パソコン/NAS)の曲を再生する」(57ページ)
- 「インターネットラジオを聴く」(58ページ)

設定

設定一覧

本製品の各種設定は、専用アプリ「MusicCast Controller」を使って行います。本ガイドでは、設定項目を抜粋して掲載しています。詳しくはアプリをご覧ください。

(部屋の名前)/設定

種類	設定項目	説明
LINK	Link制御	MusicCast Link時、速度、安定性のどちらを優先するかを設定します。
	音声タイミング調整	MusicCast Link時の音声タイミングを調整します。
	音声品質	MusicCast Link時の音声品質(圧縮する、しない)を設定します。
ファームウェア	アップデート設定	製品本体のファームウェアアップデートに関する設定をします。
外部サービス	Google Cast	Google Castのセットアップをします。Google Castをご利用になるには、セットアップが必要です。
	ストリーミングサービスアカウント	各種ストリーミングサービスに関する設定をします。
スピーカー & 音場補正	YPAOをセットアップする	YPAOでスピーカー設定を自動で調整します。 「スピーカー設定を自動で調整する(YPAO)」(36ページ)
	YPAO情報	YPAOのイコライザーを使用する場合の特性や、パラメータを確認します。
	スピーカー設定	YPAO最適化による各スピーカー設定の有効/無効、サブウーファーを使用する/しない、スピーカーの距離や音量、イコライザーやYPAOボリュームを使用する/しないなどを設定します。
サウンド	サウンド設定	YPAOボリュームなどの設定をします。サウンド設定の表をご参照ください。
	音量設定	• 音量の上限:音量の上限を設定します。 • 音量の初期値:本製品の電源をオンにしたときの音量を設定します。 • 入力レベル:入力ソース間の音量差を補正します。

種類	設定項目	説明
ビデオ/HDMI	HDMIコントロール	本製品をHDMIコントロール対応のテレビと連動させるか設定します。 • 自動:スタンバイする際、本製品とテレビのHDMI接続状態を確認して、スタンバイ中のHDMIコントロールを有効にするか無効にするか自動的に判断します。 • オフ:HDMIコントロールを無効にする。 • オン:HDMIコントロールを有効にする。 初期値:自動 「オン」に設定すると、「オフ」時より待機時消費電力が増加します。 「自動」に設定時、テレビとの連動が動作しない場合は、「オン」に設定してください。
ディスプレイ	表示器の明るさ	表示器(情報ディスプレイ)の明るさを調節します。設定できる明るさは次のとおりです。 • 0 • 1 • 2 • 3 値が大きいほど明るくなります。 初期値:3
	自動消灯までの時間	表示器(情報ディスプレイ)の消灯時間を設定します。設定できる時間は次のとおりです。 • 消灯しない • 10秒 • 15分 • 30分 初期値:30分
ユーティリティ	自動スタンバイ	本製品で何も再生していない状態が20分間続いたとき、自動的にオフ(スタンバイ)にするかどうかを設定します。 • オフ:自動的にオフ(スタンバイ)にしない。 • オン:自動的にオフ(スタンバイ)にする。 初期値:オン 「オン」に設定すると、「オフ」時より消費電力が増加します。

種類	設定項目	説明
ユーティリティ	Bluetoothスタンバイ	本製品がオフ(スタンバイ)のとき、Bluetooth接続するかどうかを設定します。 • オフ:Bluetooth接続しない。 • オン:Bluetooth接続する。 「オン」に設定すると、Bluetooth機器で接続操作が行われたときに、本製品の電源が自動的にオンになり、入力ソースがBluetoothに切り替わります。 初期値:オン
	自動再生	電源をオンにしたとき、および入力ソースを切り替えたとき、自動的に前回再生していたコンテンツの再生を開始するかどうかを設定します。 • オフ:自動的に再生を開始しない。 • オン:自動的に再生を開始する。 初期値:オン 自動再生できるのは、入力ソースが「Server」、「Net Radio」、「Podcasts」、「USB」のときです。 入力ソースやコンテンツによっては、自動再生しない場合があります。
外部機能	詳細設定	ウェブブラウザーで詳細設定を開きます。 「その他のネットワーク機能」(98ページ)

サウンド設定

種類	設定項目	説明
サウンド	YPAOボリューム	YPAOボリュームの有効/無効を設定します。 YPAOボリュームを有効にすると、音量に連動して低音域および高音域のバランスが自動的に調節されます。そのため、小音量でも自然な音質バランスで楽しめます。
	ダイアログレベル	中央に位置する音(セリフなど)の音量を調節します。
	トーンコントロール 高音	出力される音声の高音域の音量を調節します。
	トーンコントロール 低音	出力される音声の低音域の音量を調節します。
	サブウーファーレベル	サブウーファーの音量を調節します。
	バランス	左右のスピーカーの音量バランスを調節します。
スピーカー & 音場補正	YPAOをセットアップする	YPAOでスピーカー設定を自動で調整します。 「スピーカー設定を自動で調整する(YPAO)」(36ページ)

種類	設定項目	説明
スピーカー & 音場補正	YPAO情報	YPAOのイコライザーを使用する場合の特性や、パラメータを確認します。
	スピーカー設定	YPAO最適化による各スピーカー設定の有効/無効、サブウーファーを使用する/しない、スピーカーの距離や音量、イコライザーやYPAOボリュームを使用する/しないなどを設定します。
タイマー	スリープタイマー(分)	スリープタイマーの時間を設定します。設定できる時間は次のとおりです。 • オフ • 30分 • 60分 • 90分 • 120分 指定した時間が経過すると、本製品の電源が自動的にオフ(スタンバイ)になります。
情報	音声情報	再生画面に、再生中の楽曲の音声情報を表示します。
	音量表示	設定すると、音量をパーセントで表示します。

お知らせ

条件により設定ができなかったり、効果が無効となったりする場合があります。

設定の初期化とリセット

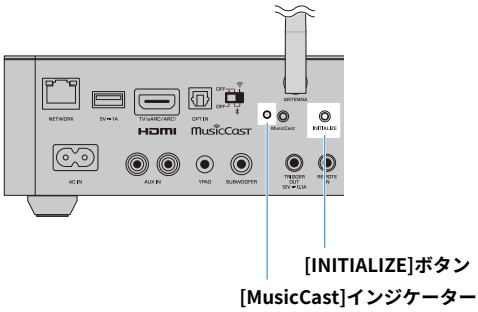
本製品の初期化やリセットについて説明します。

■ 初期化する

本製品を工場出荷状態に戻すことを初期化(イニシャライズ)と呼びます。初期化するには次のように操作します。

1 本製品の電源をオフ(スタンバイ)にする。

2 リアパネルの[INITIALIZE]ボタンを約5秒間押し続ける。
[MusicCast]インジケーターが、2回点滅します。



3 電源をオンにする。

以上で初期化は完了です。

■ 強制リセットする

本製品を強制的に再起動させることを強制リセットと呼びます。何らかの要因で本製品が動作しなくなった場合は、強制リセットにより症状が改善される場合があります。

強制リセットするには次のように操作します。

1 フロントパネルの電源スイッチを左に回し、[⏻]マークの位置に合わせたまま、約10秒待ちます。

2 電源スイッチを中央に戻します。

3 電源をオンにします。
電源スイッチを右に回し、[｜]マークの位置に合わせてから、中央に戻すか、リモコンの[⏻]キーを押します。

以上で強制リセットは完了です。

お知らせ

本製品の電源プラグをコンセントから抜いて、再び挿しても強制リセットされます。

ファームウェアアップデート

アプリを使ってファームウェアを更新する

機能の追加や不具合の改善に応じて、新しいファームウェアが提供されます。ファームウェアに関する詳細は、ヤマハウェブサイトをご覧ください。

本製品がMusicCastネットワークに接続されている場合は、新しいファームウェアの更新準備が整うと、専用アプリ「MusicCast Controller」にメッセージが表示されます。メッセージにしたがって、ファームウェアを更新してください。

ご注意

- ファームウェア更新中は、本製品を操作したり電源コードやネットワークケーブルを抜いたりしないでください。万一、中断したときは本製品が使えなくなることがあります。その場合は、持ち込み修理が必要となります。

お知らせ

ネットワークの接続状態によっては、ファームウェアの更新に失敗することがあります。その場合は、時間をおいて再度お試しいただくか、USBメモリーを使って更新してください。

関連リンク

「USBメモリーを使ってファームウェアを更新する」(71ページ)

USBメモリーを使ってファームウェアを更新する

本製品がインターネット接続されていない場合や、インターネット回線の速度が十分に得られない場合は、USBメモリーを使ってファームウェアを更新してください。更新は、フロントパネルの情報ディスプレイを見ながら本体で操作します。

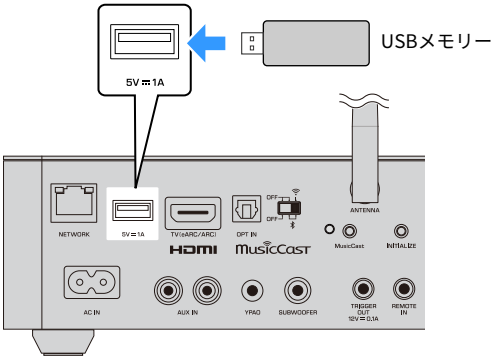
USBメモリーは、次の条件を満たすものを使用してください。

- マスストレージクラスに対応
- フォーマットがFAT16 またはFAT32
- 暗号化機能を搭載していない
- データが何も入っていない(空の状態)

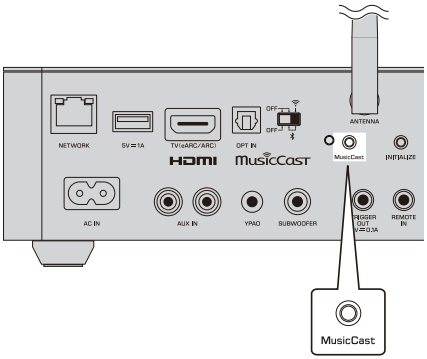
ご注意

- ファームウェア更新中は、本製品を操作したり電源コードやネットワークケーブルを抜いたりしないでください。万一、中断したときは本製品が使えなくなることがあります。その場合は、持ち込み修理が必要となります。

1. **ファームウェアをダウンロードする。**
   詳しくは、ヤマハのウェブサイトの本製品ページをご覧ください。
2. **ダウンロードした圧縮ファイルを展開(解凍)する。**
3. **ファームウェア「000xxx-xxxx.bin」をUSBメモリーに保存する。**
   USBメモリーの一番上のフォルダー(ルートフォルダー)に保存してください。その際、ファイル名を変更しないでください。
4. **電源プラグをコンセントから抜く。**
5. **USBメモリーを本体リアパネルのUSB端子に挿す。**



6 リアパネルの[MusicCast]ボタンを押しながら、電源プラグをコンセントに挿す。



[MusicCast]ボタン

7 [PLAY/PAUSE]ボタンを押す。

ファームウェアの更新が開始され、情報ディスプレイに「Updating..」と表示されます。[PLAY/PAUSE]ボタンを押さない場合でも、しばらくすると、自動的に更新が開始されます。

更新中は絶対に電源を切らないでください。

ファームウェアの更新が完了すると、情報ディスプレイに「Update Success」と表示され、本製品が自動的に再起動します。

再起動中は「Warming Up..」と表示されます。再起動が完了すると、この表示が消え、電源オン状態となります。

以上でアップデートは完了です。USB端子からUSBメモリーを抜いてください。

情報ディスプレイに「Update Failed」と表示された場合は、再度手順１から実行してください。

困ったときは

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら最初にご確認ください

- 本製品、接続したオーディオ機器(CDプレーヤーなど)、テレビの電源プラグがコンセントにしっかりと接続されている。
- 本製品、サブウーファー、オーディオ機器(CDプレーヤーなど)、テレビの電源が入っている。
- 各機器間のケーブルが端子にしっかりと接続されている。

電源/システム/リモコンのトラブル

電源が入らない

● 保護回路が3 回続けて作動した。

電源を入れようとすると、本製品前面の電源インジケーターが点滅する場合は、製品保護のために電源が入らなくなっています。修理ご相談センターに修理をご依頼ください。

・修理ご相談センターについては、同梱のセーフティーガイドをご覧ください。

電源が突然オフになる

● 保護回路が作動した(前面の電源インジケーターが点滅している)。

電源プラグの接続が正しいことを確認した後、もう一度電源をオンにしてください。たびたび電源がオフになる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、修理ご相談センターにお問い合わせください。

・修理ご相談センターについては、同梱のセーフティーガイドをご覧ください。

● スリープタイマーが作動した。

もう一度電源を入れて、再生を始めてください。詳しくは次をご覧ください。

・「設定一覧」(64ページ)

● 操作がない状態で一定時間が経過したため、自動スタンバイ機能が作動した。

自動スタンバイ機能を無効にするには、「自動スタンバイ」を「オフ」に設定してください。詳しくは次をご覧ください。

・「設定一覧」(64ページ)

● 音量を上げすぎたため、保護回路が作動した。

音量を下げてください。

本製品が操作を受け付けない

● 外部電気ショック(落雷、過度の静電気など)や、電源電圧の低下により、内部マイコンがフリーズしている。

電源プラグをコンセントから抜き、15秒以上経過してから電源プラグを挿してください。その後、電源をオンにしてください。

改善しない場合は、「強制リセット」をお試しください。

・「設定の初期化とリセット」(68ページ)

リモコンで本製品を操作できない

● 操作範囲から外れている。

操作範囲内で操作してください。詳しくは次をご覧ください。

・「リモコンの準備」(10ページ)

● 乾電池が消耗している。

新しい乾電池に交換してください。

● 本体のリモコン信号受光部に日光や強い照明が当たっている。

照明または本体の向きを変えてください。

情報ディスプレイが消灯している

● 電源が入っていない。

電源コードの接続を確認し、電源をオンにしてください。

● 操作が一定時間なかったため、情報ディスプレイが減光または消灯状態となっている。

何らかの操作をしてください。

・「情報ディスプレイ」(16ページ)

音声のトラブル

音が出ない

● HDMI接続に問題がある(HDMI接続したテレビの音が出ない場合)。

詳しくは次をご覧ください。

・「テレビとの接続(HDMI)のトラブル」(78ページ)

● 別の入力ソースが選択されている。

リモコンの入力ソース選択キーで正しい入力ソースを選んでください。詳しくは次をご覧ください。

・「入力ソースを選ぶ」(45ページ)

● 本製品で再生できない信号が入力されている。

一部のデジタル音声フォーマットは本製品で再生できません。再生可能な信号か確認してください。

対応するファイルフォーマット、HDMIの音声フォーマット、対応デコードフォーマットについては、次をご覧ください。

・「再生可能なファイルフォーマット(ネットワーク/USB)」(90ページ)

・「テレビの音声を本製品で聴く」(49ページ)

・「主な仕様」(93ページ)

● 本製品とオーディオ機器を接続しているケーブルが破損している。

接続を確認のうえ問題がなければ、別のケーブルに交換してください。

● 音声がミュートされている。

リモコンの[🔇]ミュートキーを押して、ミュートを解除してください。

● パワードスピーカーや外部アンプの電源が入っていない。または正しく接続されていない。

パワードスピーカーや外部アンプの電源を入れてください。また、正しく接続されているか確認してください。

・「パワードスピーカーや外部アンプを接続する」(20ページ)

サブウーファーから音が出ない

● サブウーファーの電源が入っていない。または正しく接続されていない。

サブウーファーの電源を入れてください。また、正しく接続されているか確認してください。

・「サブウーファーを接続する」(25ページ)

● サブウーファーの音量が極端に小さい。

サブウーファー側の音量を調節してください。

● サブウーファーのオートスタンバイ(自動的に電源をオフ(スタンバイ)にする機能)が作動した。

サブウーファー側のオートスタンバイを無効にするか、動作感度を調節してください。

音がひずむ

● 音量が大きすぎる。

音量を下げてください。

音が途切れる(無線ネットワーク使用時)

● 電子レンジや別の無線機器からの電磁波により、無線通信が妨害されている。

それらの機器の電源を切るか、本製品や無線LANルーターから遠ざけてください。また、無線LANルーターが5GHz周波数帯に対応していれば、5GHz周波数帯の接続に切り替えてください。

音量が上がらない

● 音量の上限値が低く設定されている。

「MusicCast Controller」の「音量設定」で上限値を調節してください。詳しくは次をご覧ください。

・「設定一覧」(64ページ)

特定の入力ソースだけ音が小さい(または大きい)

● 入力ソース間で音量差がある。

「MusicCast Controller」の「入力レベル」で、各入力ソースの音量を調節してください。

テレビとの接続(HDMI)のトラブル

本項目では、テレビ側の設定が必要な場合があります。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

テレビの音声が本製品から出ない

- **HDMIケーブルがテレビのeARCまたはARC対応HDMI端子に接続されていない。**
  テレビにHDMI入力端子が複数ある場合は、必ず「eARC/ARC」または「ARC」表記のあるHDMI入力端子に接続してください。
- **テレビのeARC機能が無効になっている(eARC対応テレビの場合)。**
  テレビ側でeARC機能を有効にしてください。
- **テレビのHDMIコントロール機能が無効になっている(ARCのみ対応のテレビの場合)。**
  テレビ側でHDMIコントロール機能を有効にしてください。
- **テレビ側で、テレビのスピーカーから音声を出力するように設定されている。**
  テレビ音声がテレビのスピーカーではなく、外部の機器(本製品)から出力されるように、テレビの音声出力設定を変更してください。
- **テレビから出力する音声フォーマットが正しく設定されていない。**
  本製品で再生できる[TV(eARC/ARC)]端子経由の音声は、PCM 2チャンネルのみです。テレビ側の設定をご確認いただき、eARC/ARC出力する音声フォーマットをPCM 2チャンネルに設定してください。
- **eARCまたはARCに対応していないテレビとHDMIケーブルで接続している。**
  eARCまたはARC対応のテレビとHDMIケーブルで接続してください。詳しくは次をご覧ください。
  ・「テレビを接続する」(26ページ)

テレビの入力切り替えで本製品を選んでも映像が表示されない

- **本製品からは、テレビにコンテンツや設定画面などの映像、音声は出力されません。**

テレビと連動して電源が入らない

- **本製品のHDMIコントロールの設定が「オフ」になっている。**
  「HDMIコントロール」の設定を「自動」または「オン」にしてください。詳しくは次をご覧ください。
  ・「設定一覧」(64ページ)
- **テレビのHDMIコントロールのための機能設定が適切でない。**
  電源オン操作に連動しない場合は、テレビ起動時の音声出力設定が「テレビスピーカー」になっている可能性があります。電源オフ操作に連動しない場合は、テレビのスタンバイ連動設定が「オフ」になっている可能性があります。テレビの取扱説明書をご覧になり、HDMIコントロール機能を設定してください。

● 停電などにより連動しなくなった。

❶本製品とテレビの電源コードを抜いて、5分ほど待ちます。
❷次にテレビに電源コードを接続して、さらに5分待ちます。
❸最後に本製品に電源コードを接続します。

Bluetoothのトラブル

Bluetooth機器と接続できない

● 本製品の無線機能が停止している。

本体リアパネルの無線スイッチをご確認ください。無線機能が有効となるようにスイッチを設定してください。

・「無線機能の停止方法」(100ページ)

● Bluetooth機器のBluetooth機能がオフになっている。

Bluetooth機器のBluetooth機能をオンにしてください。

● 本製品が別のBluetooth機器と接続されている。

現在のBluetooth接続を切断してから、目的のBluetooth機器と接続してください。詳しくは次をご覧ください。

・「Bluetooth®機器の音声を聴く」(51ページ)

● 本製品とBluetooth機器の距離が離れすぎている。

Bluetooth機器を本製品の近くに移動してください。

● Bluetoothと同じ2.4GHz周波数帯を使用する機器(電子レンジ、無線LANなど)からの干渉により、無線通信が妨害されている。

本製品やBluetooth機器を、それらの機器から遠ざけてください。また、無線LANルーターが5GHz周波数帯に対応していれば、5GHz周波数帯の接続に切り替えてください。

● お使いのBluetooth機器がA2DPおよびAVRCPプロファイルに対応していない。

A2DPおよびAVRCPプロファイル対応のBluetooth機器をお使いください。

● Bluetooth機器に登録されている接続情報が何らかの原因で正しく機能していない。

Bluetooth機器側の接続情報を削除してから、本製品とBluetooth機器の接続操作を行ってください。

Bluetooth®接続時に音が出ない、音が途切れる

● Bluetooth機器の音量が小さすぎる。

Bluetooth機器の音量を上げてください。

● Bluetooth機器の音声の出力先が本製品に設定されていない。

Bluetooth機器の音声の出力先を本製品に設定してください。

● Bluetooth接続が切断された。

再度Bluetooth接続を行ってください。詳しくは次をご覧ください。

・「Bluetooth®機器の音声を聴く」(51ページ)

● 本製品とBluetooth機器の距離が離れすぎている。

Bluetooth機器を本製品の近くに移動してください。

USBのトラブル

USB機器が認識されない

● USB機器がUSB端子に正しく接続されていない。

本製品の電源をオフにしてから、USB機器を接続し直してください。

● FAT16/32またはexFATフォーマット以外のUSB機器を使用している。

FAT16/32またはexFATフォーマットのUSB機器を使用してください。

USB機器のフォルダーやファイルが表示されない

● 暗号化機能によりUSB機器内のデータが保護されている。

暗号化機能のないUSB機器を使用してください。

プリセット番号を選択してもUSB機器のコンテンツを再生できない

● 登録時と異なるUSB機器を接続している。

プリセット番号を登録したUSB機器を接続してください。

● 登録したコンテンツ(ファイル)が別のフォルダーに移動された。

コンテンツを登録し直してください。

● フォルダー内でほかの音楽ファイルを追加/削除した。

フォルダーやファイル構成が変更された場合、登録済みのコンテンツが正しく呼び出されないことがあります。コンテンツを登録し直してください。

USB機器のファイルを連続して再生できない

● 選択したフォルダーに、本製品で再生できないファイルが含まれている。

再生するフォルダーには、本製品で再生できないファイルを入れないでください。

● 選択したフォルダーに、500曲以上のファイルが含まれている。

再生可能な曲は最大500曲です。フォルダー構造によっては、最大曲数は減少する場合があります。

ネットワークのトラブル

ネットワーク機能を使用できない

● 本製品の無線機能が停止している。

本体リアパネルの無線スイッチをご確認ください。無線機能が有効となるようにスイッチを設定してください。

・「無線機能の停止方法」(100ページ)

● ネットワーク情報(IPアドレス)が正しく取得されていない。

ルーターのDHCPサーバー機能を有効にしてください。

無線LANルーター(アクセスポイント)経由でインターネットに接続できない

● 無線LANルーターの電源が切れている。

無線LANルーターの電源を入れてください。

● 本製品と無線LANルーターの距離が離れすぎている。

本製品と無線LANルーターを近づけてください。

● 本製品と無線LANルーターの間に障害物がある。

本製品と無線LANルーターの間の障害物を取り除いてください。

● 無線LANルーターが14チャンネルを使用する設定になっている。

1〜13チャンネルのいずれかを使用するよう、無線LANルーターの設定を変更してください。

● 無線LANルーターのMACアドレスフィルターが有効になっている。

無線LANルーターのMACアドレスフィルターの設定を無効に変更してください。

無線ネットワークが見つからない

● 電子レンジや別の無線機器からの電磁波により、無線通信が妨害されている。

それらの機器の電源を切るか、本製品や無線LANルーターから遠ざけてください。また、無線LANルーターが5GHz周波数帯に対応していれば、5GHz周波数帯の接続に切り替えてください。

● 無線LANルーターのファイアウォール設定により、ネットワークへのアクセスが制限されている。

無線LANルーターのファイアウォール設定をご確認ください。

無線接続が頻繁に切断される、不安定になる

● 電子レンジや別の無線機器からの電磁波により、無線通信が妨害されている。

それらの機器の電源を切るか、本製品や無線LANルーターから遠ざけてください。また、無線LANルーターが5GHz周波数帯に対応していれば、5GHz周波数帯の接続に切り替えてください。

● 本製品と無線LANルーターの距離が離れすぎている。

本製品と無線LANルーターを近づけてください。

● 本製品と無線LANルーターの間に障害物がある。

本製品と無線LANルーターの間の障害物を取り除いてください。

メディアサーバー(パソコン/NAS)が検出されない

● メディアサーバーの共有設定が正しくない。

本製品がメディアサーバーのフォルダーにアクセスできるように、メディアの共有設定を変更してください。

● セキュリティーソフトなどの設定により、メディアサーバーへのアクセスが制限されている。

メディアサーバーまたはルーターのセキュリティーソフトの設定をご確認ください。

● 本製品とメディアサーバーが同じネットワークに接続されていない。

ネットワーク接続やルーターの設定を確認し、本製品とメディアサーバーを同じネットワーク(同一ルーター) に接続してください。

メディアサーバー(パソコン/NAS)のファイルが表示(再生)されない

● 本製品またはメディアサーバーが非対応のファイル形式を使用している。

本製品およびメディアサーバーが対応しているファイル形式を使用してください。本製品が対応している音楽ファイルについては、次をご覧ください。

・「再生可能なファイルフォーマット(ネットワーク/USB)」(90ページ)

プリセット番号を選択してもメディアサーバー(パソコン/NAS)のコンテンツを再生できない

● 電源が入っていない。

メディアサーバー(パソコン/NAS)の電源を確認してください。

● ネットワークに接続されていない。

ネットワーク接続やルーターの設定を確認してください。

● 登録したコンテンツ(ファイル)が別のフォルダーに移動された。

コンテンツを登録し直してください。

● フォルダー内でほかの音楽ファイルを追加/削除した。

登録済みのコンテンツが呼び出されない場合があります。コンテンツを登録し直してください。

インターネットラジオを再生できない

● インターネットに接続されていない。

インターネットラジオを使用するには、本製品がインターネットに接続されている必要があります。ネットワーク接続をご確認ください。

・「ネットワーク接続について」(30ページ)

● 選択したインターネットラジオ局のサービスが現在停止している。

ラジオ局側のネットワークエラーにより受信できない場合や、サービスを休止している場合があります。しばらく待ってから再生するか、別のラジオ局を選んでください。

● 選択したインターネットラジオ局が無音を放送している。

時間帯により無音放送になっているラジオ局があります。この場合は受信できていても音は出ません。しばらく待ってから再生するか、別のラジオ局を選んでください。

● 一時的なネットワーク上のエラーが発生している。

通信障害により再生できない場合があります。しばらく待ってから改めてラジオ局を選んでください。

● ルーターなどネットワーク機器のファイアウォール設定により、ネットワークへのアクセスが制限されている。

ファイアウォールの設定をご確認ください。なお、インターネットラジオは各ラジオ局指定のポート経由でのみ再生できます。ポート番号はラジオ局により異なります。

AirPlay使用時に、iPhoneで本製品が検出されない

● マルチSSID対応ルーターを使用している。

無線LANルーター(アクセスポイント)のネットワーク分離機能により、本製品へのアクセスができなくなっている可能性があります。iPhoneを接続する際は、本製品へのアクセスが可能なSSIDをお使いください(プライマリーSSIDへの接続をお試しください)。

AirPlayで音楽を再生できない

● iPhoneで再生できない音楽を聴こうとしている。

再生可能なファイルか確認してください。iPhone本体でも再生できない場合は、曲データや記憶領域が破損している可能性があります。

モバイル機器の専用アプリケーションで本製品が検出されない

● 本製品とモバイル機器が同じネットワークに接続されていない。

ネットワーク接続やルーターの設定を確認し、同じネットワークに接続してください。

● マルチSSID対応ルーターを使用している。

無線LANルーター(アクセスポイント)のネットワーク分離機能により、本製品へのアクセスができなくなっている可能性があります。モバイル機器を接続する際は、本製品へのアクセスが可能なSSIDをお使いください(プライマリーSSIDへの接続をお試しください)。

ネットワーク経由でファームウェアを更新できない

● ネットワークの接続状態がよくない。

しばらく待ってから再度実行してください。

エラー表示

本製品に何らかのエラーが発生すると、情報ディスプレイまたはインジケーターに次のような表示がされます。エラーの種類に応じて、対処方法をお試しください。

■ 情報ディスプレイのエラー表示

表示	エラー内容と対処方法
Version Error	ファームウェアのアップデートに失敗した可能性があります。 再度、アップデートを行ってください。 ネットワークの接続状態によってはアップデートに失敗することがあります。その場合は、時間をおいて再度お試しいただくか、USBメモリーを使ってアップデートしてください。 USBメモリーを使ったアップデートについては、ヤマハウェブサイトの本製品ページをご覧ください。

■ インジケーターのエラー表示

フロントパネル

インジケーター	表示	エラー内容と対処方法
電源インジケーター	白色点滅 	本製品の保護回路(プロテクション)が作動しました。 電源プラグをコンセントから抜き、15秒以上経過してから電源プラグを挿してください。その後、電源をオンにしてください。改善しない場合は、修理ご相談センターにお問い合わせください。

アフターサービス

サービスのご依頼やお問い合わせについては、次の窓口にお問い合わせください。

- 日本国内のお客様
  お買い上げ店、または同梱の「セーフティーガイド」掲載の「修理ご相談センター」までお問い合わせください。
- 日本以外の地域のお客様
  お近くのヤマハ正規ディーラーまたはサービスセンターまでお問い合わせください。
  https://manual.yamaha.com/audio/address_list/

仕様

対応している機器とフォーマット

対応しているBluetooth機器

本製品と接続可能なBluetooth機器は、次をご確認ください。

- A2DPおよびAVRCPプロファイルに対応したBluetooth機器に接続可能です。
- すべてのBluetooth機器に対して、Bluetooth接続および本ガイド記載の機能・性能を保証するものではありません。

対応しているUSB機器

本製品が対応しているUSB機器は、次をご確認ください。

- FAT16、FAT32、exFATのいずれかでフォーマットされたUSBメモリーに対応しています。
  その他のUSB機器は接続しないでください。
- 暗号化機能があるUSB機器は使用できません。
- すべてのUSB機器に対する接続を保証するものではありません。

再生可能なファイルフォーマット(ネットワーク/USB)

ネットワーク経由で受信した音声およびUSBファイルにおいて、本製品で再生可能なファイルフォーマットは次のとおりです。

ファイル	サンプリング周波数 (kHz)	量子化ビット数 (bit)	ビットレート (kbps)	チャンネル数	ギャップレス再生対応
WAV*	32/44.1/48/88.2/96/176.4/192/352.8/384	16/24/32	-	1/2	○
MP3	32/44.1/48	-	8 ～ 320	1/2	-
WMA	32/44.1/48	-	8 ～ 320	1/2	-
MPEG-4 AAC	32/44.1/48	-	8 ～ 320	1/2	-
FLAC	32/44.1/48/88.2/96/176.4/192/352.8/384	16/24	-	1/2	○
ALAC	32/44.1/48/88.2/96	16/24	-	1/2	○
AIFF	32/44.1/48/88.2/96/176.4/192/352.8/384	16/24/32	-	1/2	○
DSD (DSF/DIFF)	2.8 MHz(DSD64)/5.6 MHz(DSD128)/11.2 MHz(DSD256)	1	-	1(DIFF のみ)/2	-

* リニアPCMフォーマットのみ。

- メディアサーバー(パソコン/NAS)にインストールされているサーバーソフトにより、再生可能フォーマットが異なります。詳しくはサーバーソフトの取扱説明書をご覧ください。
- DRM(デジタル著作管理)により保護されたファイルは再生できません。

商標とライセンス

本説明書で使用している商標およびライセンスです。

このワイヤレスストリーミングプリアンプはAirPlayに対応しています。 iOS 11.4以降が必要です。

Works with Appleバッジを表記したアクセサリーは、バッジが表す技術に適合するように設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定されたアクセサリーであることを示します。

Apple、AirPlay、Apple TV、Apple Watch、iPad、iPad Air、iPad Pro、iPhone、Lightning、iTunesは、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc.の商標です。

日本国内において、iPhone商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

App Store

App Storeは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.のサービスマークです。

スマホ、タブレット、パソコンをリモコンにして、Spotifyで音楽を楽しめます。 詳しくは spotify.com/connect をご覧ください

Spotify のソフトウェアは、次に記載のサードパーティソフトウエアを利用しています。

www.spotify.com/connect/third-party-licenses

Being Roon Ready means that Yamaha uses Roon streaming technology, for an incredible user interface, simple setup, rock-solid daily reliability, and the highest levels of audio performance, without compromise.

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interfaceという語、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

Android™　Google Play

Android、Google Play、Google Cast は Google LLC の商標です。

Wi-Fi CERTIFIED™ロゴおよびWi-Fi Protected Setupロゴは Wi-Fi Alliance®の登録商標です。

Wi-Fi、Wi-Fi CERTIFIED、Wi-Fi Protected Setup、WPA2およびWPA3はWi-Fi Alliance® の商標または登録商標です。

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、 Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。ヤマハ株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

MusicCastは、ヤマハ株式会社の商標または登録商標です。

GPL/LGPLについて

本製品は、GPL/LGPL ライセンスが適用されたオープンソースソフトウェアのコードを一部に使用しています。お客様はGPL/LGPL ライセンスの条件に従い、これらのソフトウェアのソースコードを入手、改変、再配布する権利があります。

GPL/LGPL ライセンスの適用を受けるソフトウェアの概要、ソースコードの入手、GPL/LGPL ライセンスの内容につきましては、以下の弊社ウェブサイトをご覧ください。

https://download.yamaha.com/sourcecodes/musiccast/

ライセンス情報

本製品が使用するサードパーティソフトウェアについては、次で確認できます。

http://(本製品のIPアドレス*)/licenses.html

* 本製品のIPアドレスはMusicCast Controllerで確認できます。

主な仕様

本製品の主な仕様は次のとおりです。

基本機能

オーディオ機能

- トーンコントロール(BASS/TREBLE) ±6 dB/0.5 dB ステップ
- ボリューム 0 (ミュート) ～ 100/1 ステップ

音声技術

YPAO(自動音場補正)

- PEQ
- Reflected Sound Control (R.S.C)
- YPAO Volume

その他

- Dialogue Level
- Monaural Downmix

HDMI機能

HDMI Control(CEC/ARC Function)

- CEC Standby ON (TV 電源連動)
- Vol control UP/DOWN/Mute (TV ボリューム連動)
- eARC/ARC (対応オーディオフォーマット: 2 ch PCM 192 kHz 24-bit)

ネットワーク機能

ストリーミングサービス

- Server(PCクライアント機能)
- Net Radio(インターネットラジオ)
- Podcasts
- MusicCast Link
- AirPlay
- Spotify
- TIDAL
- Roon Ready
- Qobuz Connect
- Google Cast

Wi-Fi機能

- 無線LAN規格 IEEE802.11 a/b/g/n/ac/ax
- 無線周波数帯域 2.4 GHz/5 GHz
- 対応セキュリティー WPA2-PSK、WPA3-SAE
- WPS (Wi-Fi Protected Setup)対応
- WAC (Wireless Accessory Configuration)対応

Bluetooth機能

- 規格 Bluetooth Ver. 5.3
- 無線周波数 2.4 GHz
- 無線出力 Bluetooth Class 1
- 対応プロファイル A2DP、AVRCP
- 対応コーデック SBC、AAC
- コンテンツ保護 SCMS-T

入出力端子

音声入力端子

- アナログ音声
  ・ステレオ(RCA)×1
- デジタル音声
  (PCM 2chのみ、対応fs：32 kHz/44.1 kHz/48 kHz/88.2 kHz/96 kHz/176.4 kHz/192 kHz)
  ・光×1

音声出力端子(プリアウト) (音量制御可能)

- アナログ音声
  - ・ステレオ(RCA)×1
  - ・サブウーファー(RCA)×1
- デジタル音声
  (PCM 2ch、対応fs：48 kHz)
  - ・光×1
  - ・同軸×1

USB端子

- USB(Type-A)×1

NETWORK端子

- NETWORK(有線)×1 (100Base-TX/10Base-T)

HDMI端子

- HDMI×1

その他の端子

- トリガー出力端子×1
- YPAOマイク端子×1
- リモート入力端子×1

オーディオ部

全高調波歪率(AES-17、20 kHzLPF、20 Hz～20 kHz)

- PRE OUT 0.003%THD

周波数特性(1 kHz +0/-3 dB)

- PRE OUT(OPT/HDMI/USB IN) 10 Hz～38 kHz
  PRE OUT(AUX IN) 10 Hz～38 kHz

S/N比(AES-17、20 kHzLPF、IHF-A)

- OPT/USB/Bluetooth IN 112 dB
- AUX IN 98 dB

定格出力電圧/出力インピーダンス

- PRE OUT L/R (1 kHz) 2.0 V/700 Ω
- PRE OUT SUBWOOFER(30 Hz L=R) 4.0 V/470 Ω

最大出力レベル	
• PRE OUT 0.9% THD Preamp mode / Player mode(Gain offset +6 dB)	4.0 V
音量調整	
• 対応出力	PRE-OUT、COAX OUT、OPT OUT
• 可変範囲	0 (ミュート) ～ 100 (最大)/1 ステップ
イコライザー特性	
• Bass	
可変幅	±6 dB/0.5 dB ステップ
中心周波数	350 Hz
• Treble	
可変幅	±6 dB/0.5 dB ステップ
中心周波数	3.5 kHz
低域クロスオーバー周波数	
• カットオフ周波数	40 Hz/60 Hz/80 Hz/90 Hz/100 Hz/ 110 Hz/120 Hz/160 Hz/200 Hz
• L.P.F	24 dB/oct.
最大許容入力	
• 1 kHz 0.5% THD AUX IN	2.4 V以上

総合

電源電圧	AC 100 V 50/60 Hz
消費電力	20 W
待機時消費電力	
• HDMIコントロールオン	
• ネットワークスタンバイオフ、Bluetoothスタンバイオフ	2.0 W
• HDMIコントロールオフ	
• ネットワークスタンバイオン(有線)、Bluetoothスタンバイオン	2.0 W
ネットワークスタンバイオン(無線)、Bluetoothスタンバイオン	2.0 W
• ネットワークスタンバイオン(有線)、Bluetoothスタンバイオフ	2.0 W
ネットワークスタンバイオン(無線)、Bluetoothスタンバイオフ	2.0 W
• ネットワークスタンバイオフ、Bluetoothスタンバイオフ	0.5 W

寸法(幅×高さ×奥行き)	220×73×267 mm
参考寸法(幅×高さ×奥行き) • アンテナ直立時	220×155×267 mm
質量	1.9 kg

お知らせ

この説明は、発行時点の最新仕様に基づいて記載しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードしてご覧ください。

無線機能について

- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。
  - ・この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
  - ・万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
- 40 MHz システムの使用設定をONにする場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前に確認してください。万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、すぐに40 MHz システムの使用設定をOFFにしてください。
- 電波の種類と干渉距離

[Wi-Fi]



「2.4」：2.4 GHz 帯を使用する無線設備
「DS/OF」：変調方式は DS-SS および OFDM 方式
「4」：想定干渉距離が 40 m 以内
■■■ ■■■ ■■■：全帯域を使用し、かつ
移動体識別装置の帯域を回避可能

[Bluetooth]



「2.4」：2.4 GHz 帯を使用する無線設備
「FH」：変調方式は周波数ホッピング
「5」：想定干渉距離が 50 m 以内
「XX」：変調方式はその他の方式
「7」：想定干渉距離が 70 m 以内
■■■■■■■■■：全帯域を使用し、かつ
移動体識別装置の帯域を回避不可

- 5GHz 帯周波数範囲と対応チャンネル
  - ・5.2 GHz 帯(W52)： 5180 ～5240 MHz(36 ch、40 ch、44 ch、48 ch)
  - ・5.3 GHz 帯(W53)： 5260 ～5320 MHz(52 ch、56 ch、60 ch、64 ch)
  - ・5.6 GHz 帯(W56)： 5500 ～5700 MHz(100 ch、104 ch、108 ch、112 ch、 116 ch、120 ch、124 ch、128 ch、132 ch、136 ch、 140 ch)

ネットワーク機能について

その他のネットワーク機能

本製品は本ガイド記載の各機能に加え、ネットワークを利用した次の機能を搭載しています。

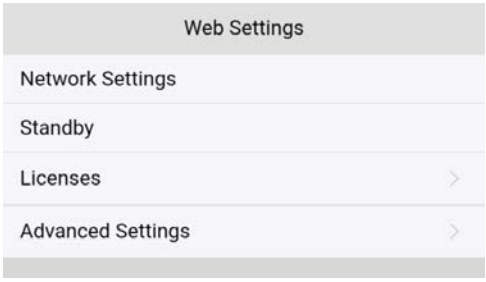
機能

- Web Settings
- Simple Device Discovery Protocol (SDDP)対応

■ Web Settings

本製品の一部の機能は、ウェブブラウザーを使用して設定します。

Web Settings画面で本製品の設定変更やライセンス情報の閲覧ができます。 専用アプリ「MusicCast Controller」の設定メニューから「外部機能/詳細設定」を選んでください。



Web Settings画面では次の項目の確認や変更ができます。

Network Settings

ネットワークへの接続方法(有線/無線、DHCP/IPアドレスなど)を設定します。

Standby

Network StandbyのMode(Off, On, Auto)や、Bluetooth StandbyのMode(Off, On)を設定します。

Licenses

各種ライセンス文を表示します。

Advanced Settings

より詳細な設定や情報の参照ができます。

■ Simple Device Discovery Protocol (SDDP)対応

本製品はSimple Device Discovery Protocol (SDDP)に対応しています。SDDPは、ホームオートメーションシステムで使われる自動デバイス検出プロトコルです。Control4システムにおいて、新しい対応機器をネットワークに接続したときに、自動的にそれを検出・識別することで、セットアップ作業を簡略化できます。

Control4について詳しくは次のURLにアクセスしてください。

https://www.control4.com/

無線機能の停止方法

本製品には次の無線機能があります。設定変更により、それらの機能を停止(無効化)できます。

機能

- Wi-Fi
- Bluetooth

お知らせ

- 通常は設定を変更する必要はありません。無線の電波を停止したい場合のみ、設定変更してください。
- Bluetooth機能だけを停止することはできません。

■ Wi-Fi/Bluetooth機能の停止方法

次の手順に従って、本体リアパネルの無線スイッチを希望する位置に設定します。

1 **本製品の電源をオフ(スタンバイ)にする。**

2 **電源コードをコンセントから抜く。**

3 **無線スイッチを、希望する位置に設定する。**
後述の「無線スイッチ設定表」をご覧ください。

4 **電源コードをコンセントに挿し、電源をオンにする。**

以上で、設定は完了です。

無線スイッチ設定表

スイッチ位置	Wi-Fi	Bluetooth
 スイッチを右側に設定した場合	有効	有効
 スイッチを中央に設定した場合	無効	有効
 スイッチを左側に設定した場合	無効	無効

Yamaha Global Site
https://www.yamaha.com/

Yamaha Downloads
https://download.yamaha.com/

© 2026 Yamaha Corporation

2026年10月 発行 NV-C0

AV25-0047